

東海市学校施設長寿命化計画

令和3年3月

東海市 学校教育課

目次

序章 計画策定の背景・目的等	1
(1) 背景・目的	1
(2) 位置づけ	2
(3) 計画期間	2
(4) 対象施設	3
1章 学校施設等の目指す姿	4
(1) 学校施設等の目指す姿	4
(2) 上位・関連計画の整理	5
2章 学校施設の実態把握	9
(1) 学校施設等の把握及び分析	9
(2) 学校施設の老朽化状況の確認	21
(3) 将来コストの見通し（従来型）	28
(4) 学校施設の実態を踏まえた課題	29
3章 学校施設整備の基本的な方針等	30
(1) 学校施設の規模、配置計画等の方針	30
(2) 改修等の基本的な方針	32
4章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	35
(1) 改修等の整備水準	35
(2) 維持管理の項目・手法等	37
5章 長寿命化の実施計画	38
(1) 改修等の優先順位付けと実施計画	38
(2) 長寿命化コストの見通しと効果	40
6章 長寿命化計画の継続的運用方針	42
(1) 情報基盤の整備と活用	42
(2) 推進体制等の整備	42
(3) フォローアップ	42
資料編	43
用語解説	43

序章 計画策定の背景・目的等

(1) 背景・目的

① 背景

国は「インフラ長寿命化計画」を平成25年（2013年）11月に、文部科学省は「インフラ長寿命化計画（行動計画）」を平成27年（2015年）3月に策定し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図る方向性が打ち出されました。これを受けて、各地方公共団体においても、公共施設の中長期的な整備の方針を定めることが求められました。

本市においても、平成29年（2017年）3月に「東海市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設全体についての整備の基本方針と目標を定め、計画の推進に取り組んでいるところです。

本市の学校施設は、昭和30年代後半から50年代にかけて多く建設され、建築後40年を超える建物が全体床面積の77%を占めており、今後、限られた予算の中で建物の改修や更新（建替え）を行っていく必要があります。

一方、学校のニーズは多様化し、時代の変化に対応した学習内容や形態への対応、生活空間の快適性、防災対策、環境負荷の低減など、質的な向上が求められるとともに災害発生時の避難所としての機能も求められています。

また、学校は地域コミュニティの核としての役割も期待されており、地域の拠点としての機能も求められています。

② 目的

上記の背景を踏まえ、学校施設に求められる機能を確保しながら、学校施設の老朽化対策としての予防保全と教育環境の質的な向上を併せて実施する長寿命化により、計画的な更新（建替え）及び改修を実施することで、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減・財政支出の平準化を図ることを目的とします。

(2) 位置づけ

本計画は、平成29年3月に策定された「東海市公共施設等総合管理計画」、令和2年3月に策定された「東海市公共建築物再編計画」及び「インフラ施設の長寿命化方針」に基づき、学校施設の長寿命化計画として、施設の維持管理・更新等の推進を図るため、具体的な対応方針を示す計画です。また、国の「インフラ長寿命化基本計画」の行動計画に基づく実施計画である個別施設計画として位置づけられます。

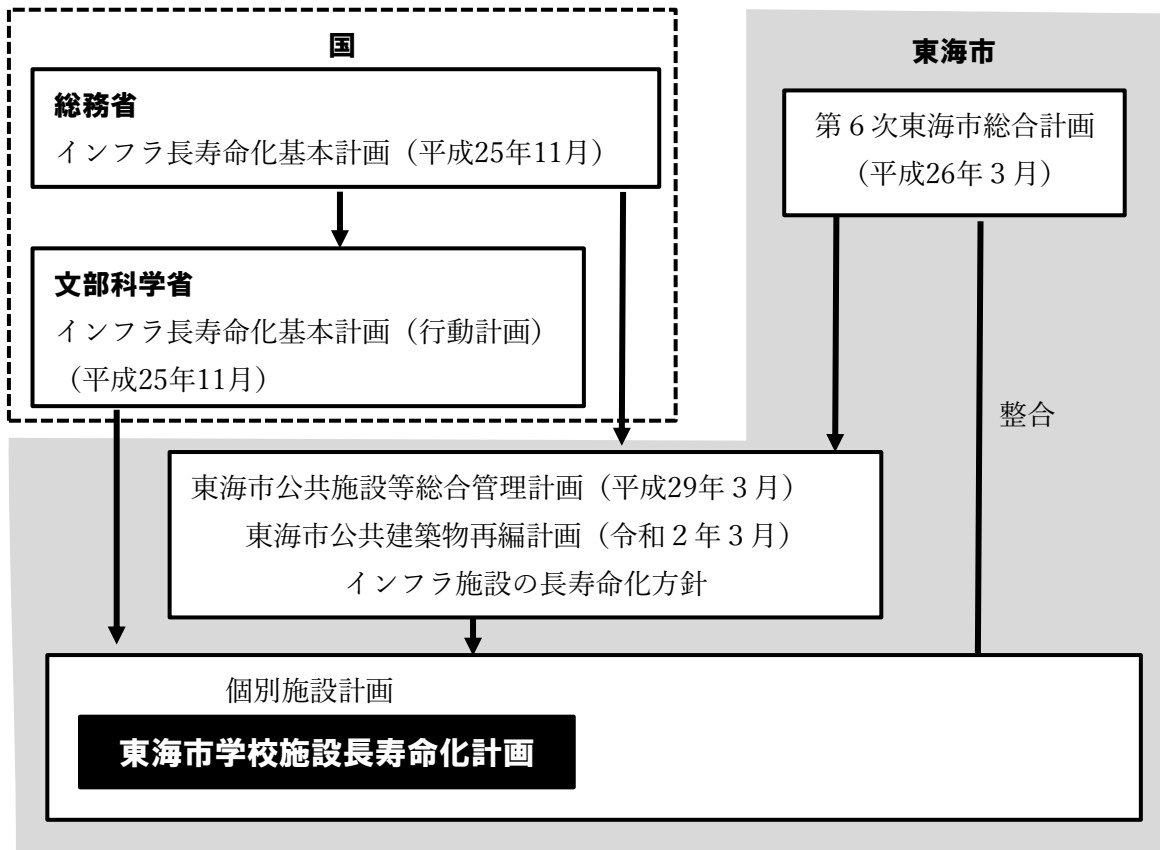


図1 位置づけ

(3) 計画期間

計画期間は、令和3年度（2021年度）から令和22年度（2040年度）の20年間とします。

(4) 対象施設

本市が所有する小学校12校、中学校6校、給食センター2施設の計20施設を対象とします。

表1 対象施設区分

	学校数	棟数	延床面積
小学校	12校	137棟	93,863 m ²
中学校	6校	78棟	61,991 m ²
給食センター	2施設	11棟	3,337 m ²
計	18校2施設	226棟	159,191 m ²

表2 小中学校等一覧

No	区分	学校名	所在地
1	小学校	緑陽小学校	名和町石谷80
2		名和小学校	名和町山東10
3		渡内小学校	荒尾町義呂1-1
4		平洲小学校	荒尾町片坂1
5		明倫小学校	荒尾町土取1-1
6		富木島小学校	富木島町手代44
7		船島小学校	富木島町船島1-1
8		大田小学校	大田町細田23
9		横須賀小学校	横須賀町大塚36
10		加木屋小学校	加木屋町編笠9
11		三ツ池小学校	加木屋町鎌吉良根9
12		加木屋南小学校	加木屋町泡池2
13	中学校	名和中学校	名和町中首羅1-1
14		上野中学校	名和町奥平戸28
15		平洲中学校	富貴ノ台五丁目181
16		富木島中学校	富木島町向イ27
17		横須賀中学校	高横須賀町猫狭間2
18		加木屋中学校	加木屋町西御嶽18-1
19	給食センター	明倫調理場	荒尾町土取70
20		加木屋調理場	加木屋町倉池6

1章 学校施設等の目指す姿

(1) 学校施設等の目指す姿

① 快適で安全な学校施設

・児童生徒が一日の大半を過ごす重要な学習・生活の場として、安心・安全な学校生活を送れるよう、屋上防水や外壁改修等の老朽化対策や、トイレの洋式化、空調機の設置などの生活環境対策の実施を行い、教育環境の整備を図るとともに、不審者等の対応としての各種通報システムを利用した防犯対策の強化を目指します。

・障がいの有無に関わらず安心して学校施設を利用できるようバリアフリー化を目指します。

・本市の学校施設の耐震化率は100%を達成しています。体育館等の照明器具等非構造部材の落下防止対策を順次行っていますが、未対策の学校もあるため、今後も積極的に進めていきます。

② 学習環境の向上

・ICT環境や多様な学習内容・形態など、新たな時代に求められる学習環境に柔軟に対応できる施設整備を進めていきます。

③ 地域に開かれた学校づくりと地域拠点及び防災拠点

・学校、保護者、地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育て見守る体制を整えることができるよう、学校支援協議会等の活動の充実を図り、開かれた学校づくりを推進します。

・地域の拠点として地域密着型施設等との複合化や集約化についての検討を進めていきます。

・学校は、災害時において地域の避難所として利用されるため、備蓄倉庫や発電設備等の整備をはじめ、地域の防災拠点としての平時からの防災機能強化を図ります。

④ 学校施設の規模の適正化

・将来的な児童生徒数の変動に対しては、地域や保護者の理解を得ながら学校規模の適正化を目指します。

⑤ 安心安全な学校給食の提供

・給食センターは、児童生徒に安心して安全な給食を安定して提供する必要があることから、常に安全で衛生的な作業環境が保てるよう計画的な施設整備を進めていきます。

⑥ 予防保全による長寿命化

・日常点検や定期点検による施設の劣化状況を把握することにより、計画的な予防保全を実施し、施設の長寿命化を図ります。

(2) 上位・関連計画の整理

計画名	内容
学校指導要領 (平成29年告示) 【小学校、中学校】	<p><これらからの学校に求められること></p> <p>教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の児童・生徒が、<u>自分のよさや可能性を認識</u>するとともに、あらゆる<u>他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働</u>しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、<u>持続可能な社会の創り手</u>となることができるようにすることが求められる。</p>
教育振興基本計画 (第3期) 計画期間：2018～2022 策定年月：2018年6月 策定機関：文部科学省 【公共学校の施設に関する事項のうち未実施内容を中心に抜粋】	<p><今後の教育政策に関する基本的な方針></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する 2. 社会の持続的な発展を牽引けんいんするための多様な力を育成する 3. 生涯学び、活躍できる環境を整える 4. 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する 5. 教育政策推進のための基盤を整備する <p><今後5年間の教育政策の目標と施策群></p> <p>■教育政策推進のための基盤を整備する</p> <p>目標(18) 安全・安心で質の高い教育研究環境の整備</p> <p>(測定指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立学校施設の長寿命化計画の策定率を100%にする ・緊急的に老朽化対策が必要な公立小中学校施設の未改修面積の計画的な縮減 <p>○安全・安心で質の高い学校施設等の整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立学校について、長寿命化改修を中心とした計画的な老朽化対策の実施に加え、非構造部材の耐震対策、防災機能強化、教育環境の質的向上を推進する。
第6次東海市総合計画 計画期間：2014～2023 策定年月：2014年3月 【学校の施設に関する事項を抜粋】	<p>第2章 人づくり・心そだて</p> <p>第1節 学校教育</p> <p>施策10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる</p> <p><めざすまちの姿></p> <p>子どもたちにとって学校が楽しく、不登校児童生徒が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●快適・安全に教育を受けることができる学校施設、設備、環境が整っています。 ●安全で栄養豊かな学校給食を食べ、健やかに成長しています。 <p>10-3 快適で安全な学校生活を充実させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備を図り、学校や子どもの状況に応じた支援を行うなど、快適・安全な学校生活を送ることができる環境づくりを進めます。 <p>10-5 食の大切さと楽しさを理解させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが食の大切さと楽しさを学び、健やかに成長できるよう安全な学校給食を提供します。 <p>施策11 学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える</p>

計画名	内容
	<p><めざすまちの姿> 子どもの健全な成長に対して、学校、家庭、地域などが連携している</p> <p>●学校が地域に開かれており、地域の人々がさまざまな形で学校に関わっています。</p> <p>11-1 地域に開かれた学校をつくる</p> <p>・学校を開放し、情報を発信することで、訪れやすく愛着を持つことができる学校づくりを進めるとともに、地域住民に学校のことをよく知ってもらうなど、学校、家庭、地域の連携による教育を進めます。</p> <p>施策22 市民と市が一体となって災害に備える</p> <p>22-3 地域と市の連携を強化する</p> <p>・地域、学校、市民活動団体、関係機関などと協力し、防災訓練や各種防災対策を進めます。</p>
<p>東海市公共施設等総合管理計画 計画期間：2017～2036 策定年月：2017年3月</p> <p>【学校の施設に関する事項を抜粋】</p>	<p><公共施設等の管理に関する基本的な考え方></p> <p>■ 点検・診断等の実施方針</p> <p>○継続的な利用が見込まれる公共施設等は、<u>予防保全型維持管理の視点に立って、劣化が進む前に計画的に点検や劣化診断</u>を行っています。特に、経年による劣化や自然災害等の外的負荷による性能低下等の状況を定期的に把握し、予防保全的な観点から対策を検討します。</p> <p>また、公共建築物は、点検・診断等のデータを<u>保全マネジメントシステムに集約・蓄積し、老朽化対策等に活用</u>します。</p> <p>■ 維持管理・修繕・更新等の実施方針</p> <p>○施設が破損・故障してから修繕する「事後保全」から、点検・診断等の結果に基づき計画的に適切な維持管理・修繕・更新等を行う「<u>予防保全</u>」へ転換し、機能や性能の保持及び回復を図ります。公共施設等の更新は、今後の複合化、広域化及び廃止などの方向性を踏まえ、必要な公共施設等のみを対象とします。また、公共建築物は、修繕、改修、更新等のデータを<u>保全マネジメントシステムに集約・蓄積し、老朽化対策等に活用</u>します。</p> <p><施設類型ごとの管理に関する基本的方針></p> <p>○学校施設は、児童・生徒が日常的に使用し、本市で最も大きな割合を占める施設であることや築30年以上経過している施設が多いことから、<u>特に計画的な維持管理・長寿命化を進め、児童・生徒の安全性を確保</u>していきます。</p> <p>○近年、児童・生徒数は微増していますが、将来的には児童・生徒数の変動に合わせた施設の整備などによって、<u>学校規模の適正化</u>を図っていきます。</p> <p>○<u>給食センター</u>については、児童・生徒への安全な給食の提供を第一としつつ、社会情勢の変化や多様化する市民ニーズ等に対応した施設のあり方について検討していきます。施設の運営・維持管理については、より効率的・効果的な運営を図るとともに、更新にあたっては、<u>児童・生徒数の変動に合わせた施設規模の適正化</u>を図っていきます。</p>
<p>東海市公共建築物再編計画</p>	<p><再配置の取組方針> 複合化・集約化の方針</p> <p>■ 保有施設量の最適化に向けた取組みの基本方針</p>

計画名	内容
計画期間：2021～2040 策定年月：2020年3月 【学校の施設に関する事項を抜粋】	<p>○再配置の核となる施設との複合化によるまちづくり まちづくりを進めるうえで、市民の生涯学習活動や地域活動の核となる施設への複合化や集約化を進めます。</p> <p>○地域の拠点施設との複合化、集約化による再配置 地域密着型施設は、地域の拠点となる小学校を中心に複合化や集約化を検討し、小学校区に1施設を基本に再配置を進めます。</p> <p>○更新時の延床面積の縮減 施設を更新する際は、施設の共用や相互利用を積極的に検討し、延床面積の縮減を進めます。</p> <p>○既存施設の有効活用と保有施設量の縮減 新しい社会環境やニーズに対応する際は、新規に整備するのではなく、既存施設の用途変更や空きスペースの有効活用に努めます。 また、新たな施設整備や増築を行う場合は、長期的な視野での既存施設の廃止・縮小を計画し、保有施設量の縮減を進めます。</p> <p>■ 地域密着型施設再配置の取組方針</p> <p>○小学校を拠点とする集約化と多機能化 地域の子どもたちが学び、地域のコミュニティ活動で大きな役割を持つ小学校等を拠点にして、公民館・市民館や児童館等の集約化・多機能化を検討し、地域の拠点空間としての形成を進めます。</p> <p>維持管理・修繕の方針</p> <p>■ 点検・診断等の実施</p> <p>○計画的に維持管理・修繕等を行う予防保全の考え方に基いて、日常的な点検・診断、定期点検を実施し、施設の安全性や利便性を確保するための長寿命化を進めます。</p> <p>■ 予防的修繕の実施</p> <p>○公共建築物を耐用年数（RC造等は80年、木造等は50年）まで長期的に使用するためには、耐用年数の中間年（RC造等では40年経過時）に大規模改修を行うだけでなく、大規模改修との中間年（RC造等では20年経過時と60年経過時）に定期修繕を行うなど劣化の早期段階における予防的修繕を実施し、ライフサイクルコスト全体を下げる取組みを進めます。</p> <p>○施設を更新する際は、イニシャルコスト（施設整備に伴う初期経費）やランニングコスト（維持管理・施設運営に伴う経費）の抑制と、維持管理がしやすい構造・仕様にします。 また、将来の市民ニーズの変化に対応するため、柔軟な利用形態への変更や、同じ種類の地域密着型施設は、同じ機能、同じ仕様になるように計画します。</p> <p>○地域密着型施設は、耐用年数を迎える10年前までに、施設の統合や他施設との複合化を検討します。</p> <p>再配置の方向性と論点の整理 <施設検討の方向性と論点></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 推進項目（方向性） <input type="checkbox"/> 検討項目（論点）</p> <p>■ 学校施設は、将来的な児童生徒数の変動に合わせて、学校規模の適正化を図ります。</p> <p>■ 学校施設は、地域の拠点として複合化や集約化を推進しま</p>

計画名	内容
	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■学校施設を地域の拠点として複合化や集約化をする場合は、メリットを生かし、デメリットを少なくするための施設配置等を検討します。 ■学校プールは、<u>民間施設を活用した水泳授業の移行</u>を進めます。 ■学校給食センターは、<u>更新する際は施設統合等</u>を行い、<u>既存施設の延床面積に対して縮減</u>を図ります。

2章 学校施設の実態把握

(1) 学校施設等の把握及び分析

① 学校施設の配置状況

本計画の対象となる小学校12校、中学校6校、給食センター2施設の市内の配置状況は以下のとおりです。

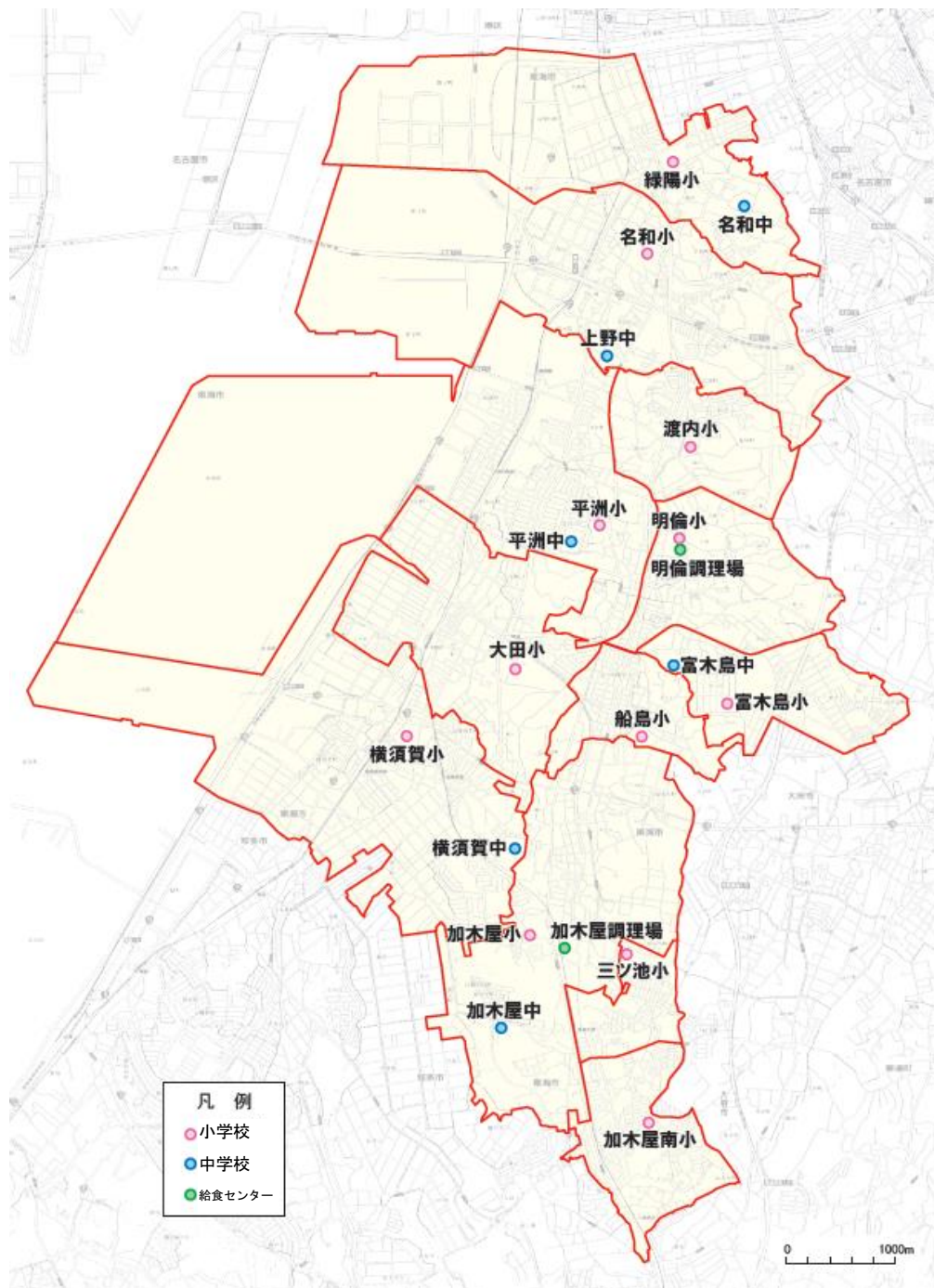


図 2 施設の配置状況

② 学校施設の保有量

本計画の対象とする学校施設としては、226棟、延床面積約15.9万㎡を対象とします。このうち、築30年以上経過した建物は193棟、延床面積は約13.9万㎡であり、面積割合で87%を占めており、今後、これらの建物の改修や更新（建替え）を行っていくことが必要となっています。さらに、築40年以上経過した建物は146棟、延床面積12.2万㎡であり、面積割合で77%を占めています。その多くは、昭和30年代後半から50年代に集中して建築されていることから、今後これら老朽建物の改修や更新（建替え）のタイミングも一斉に迎えることとなり、財政支出の平準化を検討する必要があります。

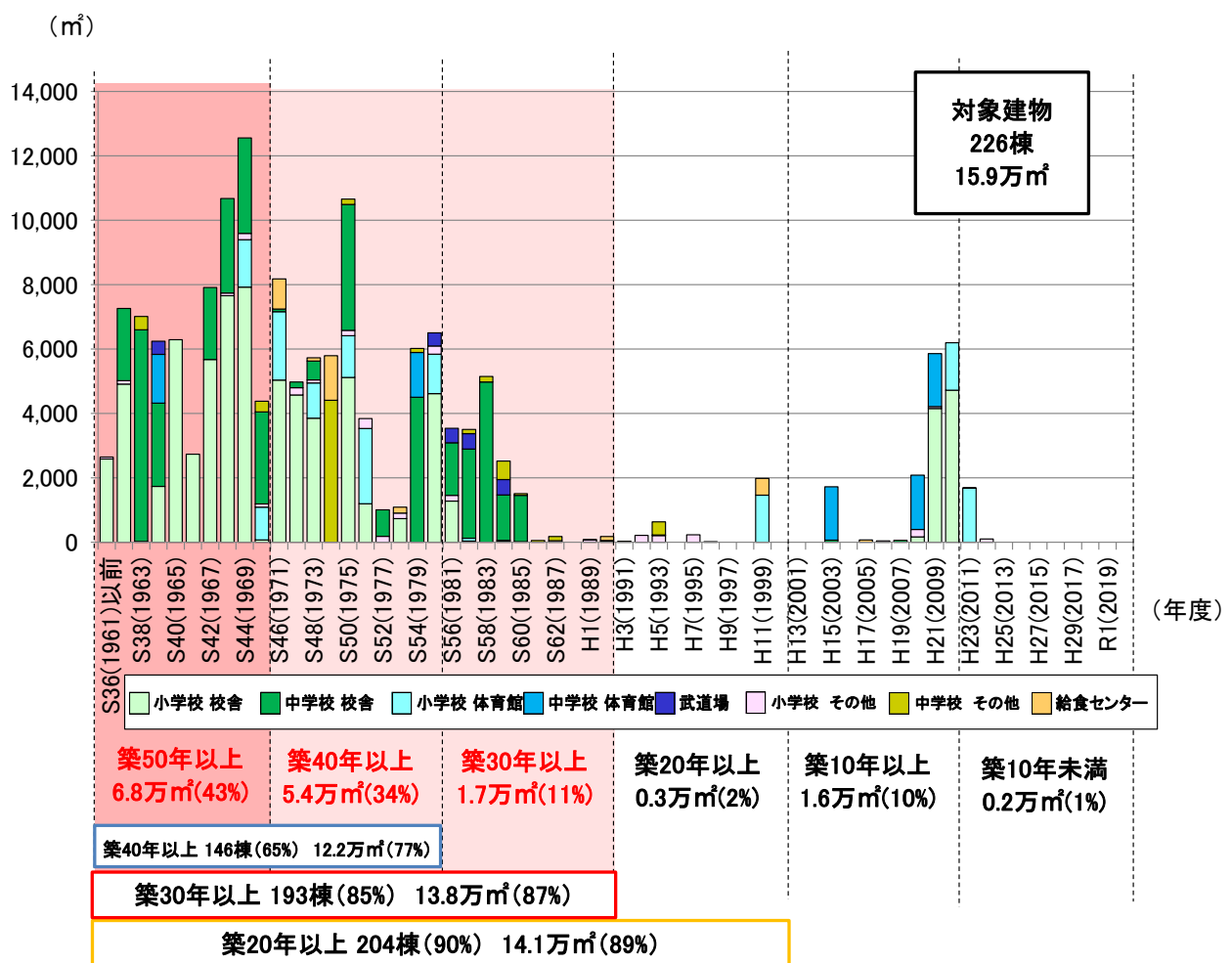


図 3 学校施設の保有量

③ 対象一覧

学校施設台帳のデータ等をもとに計画策定のための建物情報を整理しました。

表 3 施設一覧

施設名称	建物名称	棟数	構造	階数	延床面積 (㎡)	竣工年度	築年数
緑陽小学校	本館	10	RC	4	4,968	1971 (S46)	49
	南館		RC	3	1,448	2010 (H22)	10
	屋内運動場		RC	2	1,090	1973 (S48)	47
	プール管理棟		RC	1	166	2008 (H20)	12
名和小学校	本館	17	RC	2	1,368	1957 (S32)	63
	中館		RC	3	2,655	1965 (S40)	55
	北館		RC	3	1,833	1968 (S43)	52
	屋内運動場		RC	1	1,128	1969 (S44)	51
	プール管理棟		S	1	213	1992 (H4)	28
渡内小学校	本館	8	RC	4	3,847	1973 (S48)	47
	南館		RC	3	1,796	1975 (S50)	45
	屋内運動場		RC	2	1,196	1975 (S50)	45
	プール管理棟		S	1	174	1978 (S53)	42
平洲小学校	本館	16	RC	2	1,406	1957 (S32)	63
	中館		RC	3	2,677	1967 (S42)	53
	北館		RC	2	1,546	1969 (S44)	51
	西館		RC	2	663	1978 (S53)	42
	屋内運動場		RC	3	1,326	1971 (S46)	49
	プール管理棟		S	1	175	1980 (S55)	40
明倫小学校	北館	10	RC	3	3,214	1968 (S43)	52
	本館		RC	3	3,110	1969 (S44)	51
	屋内運動場		RC	1	1,003	1971 (S46)	49
	プール管理棟		S	1	164	1975 (S50)	12
富木島小学校	本館	12	RC	3	2,814	1967 (S42)	53
	中館		RC	3	2,431	1965 (S40)	55
	南館		RC	2	1,657	1965 (S40)	55
	屋内運動場		RC	1	1,015	1970 (S45)	50
	プール管理棟		S	1	174	1981 (S56)	39
船島小学校	本館	7	RC	4	4,587	1980 (S55)	40
	屋内運動場		RC	1	1,128	1980 (S55)	40
大田小学校	北館	11	RC	4	4,052	1972 (S47)	48
	本館		RC	2	944	1976 (S51)	44
	屋内運動場		RC	2	1,105	1976 (S51)	44

施設名称	建物名称	棟数	構造	階数	延床面積 (㎡)	竣工年度	築年数
横須賀小学校	1棟	22	RC	2	1,733	1962 (S37)	58
	2棟		RC	2	1,528	1962 (S37)	58
	3棟		RC	2	1,697	1962 (S37)	58
	4棟		RC	2	1,711	1964 (S39)	56
	本館		RC	2	2,749	1966 (S41)	54
	屋内運動場		RC	2	1,462	1999 (H11)	21
	プール管理棟		S	1	211	1993 (H5)	27
加木屋小学校	本館、南館	6	RC	4	7,431	2009 (H21)	11
	屋内運動場		RC+S	2	1,681	2011 (H23)	9
三ツ池小学校	本館	8	RC	4	3,325	1975 (S50)	45
	南館		RC	2	1,282	1981 (S56)	39
	屋内運動場		RC	2	1,237	1976 (S51)	44
	プール管理棟		S	1	233	1995 (H7)	25
加木屋南小学校	北館	10	RC	3	2,867	1968 (S43)	52
	本館		RC	3	3,298	1969 (S44)	51
	南館		RC	2	525	1972 (S47)	48
	屋内運動場		RC+S	1	1,474	2010 (H22)	10
	プール管理棟		S	1	189	1977 (S52)	43
名和中学校	本館	9	RC	4	4,502	1979 (S54)	41
	屋内運動場		RC	1	1,394	1979 (S54)	41
	北館兼柔剣道場		RC	3	2,761	1982 (S57)	38
	プール管理棟		S	1	164	1975 (S50)	45
上野中学校	本館	15	RC	3	2,240	1962 (S37)	58
	中館		RC	3	2,452	1967 (S42)	53
	南館		RC	3	2,904	1970 (S45)	50
	柔剣道場		S	1	410	1980 (S55)	40
	プール管理棟		S	1	180	1993 (H5)	27
	屋内運動場		SRC	1	1,659	2003 (H15)	17
平洲中学校	本館	14	RC	4	4,886	1983 (S58)	37
	屋内運動場兼柔剣道場		RC	2	2,206	1984 (S59)	36
	北館		RC	2	1,351	1985 (S60)	35
富木島中学校	本館	15	RC	3	5,400	1968 (S43)	52
	北館		RC+S	1	2,697	1969 (S44)	51
	柔剣道場		S	2	445	1982 (S57)	38
	屋内運動場		SRC	1	1,690	2008 (H20)	12
	プール管理棟		W	1	240	1970 (S45)	50
横須賀中学校	北館	18	RC	3	2,862	1963 (S38)	57
	中館		RC	3	3,300	1963 (S38)	57
	本館		RC	3	2,585	1964 (S39)	56
	屋内運動場		RC	2	1,513	1964 (S39)	56
	柔剣道場		S	1	408	1964 (S39)	56
	プール管理棟		S	1	226	1993 (H5)	27

施設名称	建物名称	棟数	構造	階数	延床面積 (㎡)	竣工年度	築年数
加木屋中学校	北館	7	RC	4	4,148	1974 (S49)	46
	本館		RC	4	3,912	1975 (S50)	45
	技術棟		RC	2	1,266	1977 (S52)	43
	プール管理棟		S	1	164	1974 (S49)	46
	屋内運動場		SRC	2	1,644	2009 (H21)	11
明倫調理場	調理室・事務室	6	RC	2	845	1971 (S46)	49
			S	1	798	1999 (H11)	21
加木屋調理場	調理室・事務室	5	RC	1	35	1974 (S49)	46
			RC	2	1,224	1974 (S49)	46
			S	1	59	2005 (H17)	15

※ 倉庫等の付属施設は棟数のみに含むものとします。

※ 学校のプールについては、建築物ではないため、ここでは記載してありません。

④ 施設の設置目的及び状態等

(1) 施設の設置目的

【小中学校】

子どもたちが楽しく、安心して生活できる学びの場として、自己を成長させるとともに、集団生活を通して社会性、生きる力を身に付ける役割を担います。

【給食センター】

子どもたちが望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校における指導体制の整備を図り、安心・安全な給食を実施する役割を担います。

(2) 施設の改修状況

施設の改修状況は表4のとおりです。

表4 改修状況

No.	施設名称	主構造	延床面積 (㎡)	竣工年度	経過 年数	耐震改修	屋根 防水	外壁	
1	緑陽 小学校	本館	RC	4,968	1971 (S46)	49	2004 (H16)	2015 (H27)	2004 (H16)
2		屋内運動場	RC	1,090	1973 (S48)	47	2008 (H20)	2008 (H20)	2016 (H28)
3		南館、渡り 廊下	RC	1,448	2010 (H22)	10	新耐震	未実施	未実施
4	名和 小学校	本館	RC	1,365	1957 (S32)	63	不要	2020 (R2)	1985 (S60)
5		中館	RC	2,655	1965 (S40)	55	2004 (H16)	未実施	未実施
6		北館	RC	1,833	1968 (S43)	52	2007 (H19)	未実施	未実施
7		屋内運動場	RC	1,128	1969 (S44)	51	2007 (H19)	2016 (H28)	2016 (H28)
8	渡内 小学校	本館	RC	3,847	1973 (S48)	47	2009 (H21)	1999 (H11)	1990 (H2)
9		南館	RC	1,796	1975 (S50)	45	2008 (H20)	未実施	1991 (H3)
10		屋内運動場	RC	1,196	1975 (S50)	45	2008 (H20)	2008 (H20)	1991 (H3)

No.	施設名称	主構造	延床面積 (㎡)	竣工年度	経過 年数	耐震改修	屋根 防水	外壁	
11	平洲 小学校	本館	RC	1,406	1957 (S32)	63	2008 (H20)	1999 (H11)	1984 (S59)
12		中館	RC	2,677	1967 (S42)	53	2007 (H19)	2017 (H29)	1991 (H3)
13		北館	RC	1,546	1969 (S44)	51	2008 (H20)	1993 (H5)	1993 (H5)
14		西館	RC	663	1978 (S53)	42	不要	未実施	未実施
15		屋内運動場	RC	1,326	1971 (S46)	49	2008 (H20)	2009 (H21)	2009 (H21)
16	明倫 小学校	北館	RC	3,214	1968 (S43)	52	2009 (H21)	1992 (H4)	1992 (H4)
17		本館	RC	3,110	1969 (S44)	51	2008 (H20)	1981 (S56)	2000 (H12)
18		屋内運動場	RC	1,003	1971 (S46)	49	2009 (H21)	2009 (H21)	2005 (H17)
19	富木島 小学校	本館	RC	2,814	1965 (S40)	55	2007 (H19)	2007 (H19)	1984 (S59)
20		中館	RC	2,431	1965 (S40)	55	2008 (H20)	1988 (S63)	未実施
21		南館	RC	1,657	1967 (S42)	53	2009 (H21)	1993 (H5)	1993 (H5)
22		屋内運動場	RC	1,015	1970 (S45)	50	2007 (H19)	2011 (H23)	2018 (H30)
23	船島 小学校	本館	RC	4,587	1980 (S55)	40	2007 (H19)	2017 (H29)	1996 (H8)
24		屋内運動場	RC	1,128	1980 (S55)	40	2009 (H21)	2009 (H21)	未実施
25	大田 小学校	北館	RC	4,052	1972 (S47)	48	2008 (H20)	1999 (H11)	2001 (H13)
26		屋内運動場	RC	1,105	1976 (S51)	44	2009 (H21)	2014 (H26)	2014 (H26)
27		本館	RC	944	1976 (S51)	44	不要	未実施	2014 (H26)
28	横須賀 小学校	1棟	RC	1,733	1962 (S37)	58	2008 (H20)	2008 (H20)	1986 (S61)
29		2棟	RC	1,528	1962 (S37)	58	2006 (H18)	1990 (H2)	2006 (H18)
30		3棟	RC	1,697	1962 (S37)	58	2007 (H19)	2004 (H16)	2007 (H19)
31		4棟	RC	1,711	1964 (S39)	56	2007 (H19)	2000 (H12)	2007 (H19)
32		本館	RC	2,749	1966 (S41)	54	1999 (H11)	1988 (S63)	2005 (H17)
33		屋内運動場	RC	1,462	1999 (H11)	21	新耐震	未実施	未実施
34	加木屋 小学校	屋内運動場	RC	1,681	2011 (H23)	9	不要	未実施	未実施
35		南館	RC	4,155	2009 (H21)	11	不要	未実施	未実施
36		本館	RC	3,276	2010 (H22)	10	不要	未実施	未実施
37	三ツ池 小学校	本館	RC	3,325	1975 (S50)	45	2009 (H21)	2018 (H30)	2018 (H30)
38		屋内運動場	RC	1,237	1976 (S51)	44	2009 (H21)	2009 (H21)	未実施
39		南館	RC	1,282	1981 (S56)	39	不要	2010 (H22)	未実施

No.	施設名称	主構造	延床面積 (㎡)	竣工年度	経過 年数	耐震改修	屋根 防水	外壁	
40	加木屋 南 小学校	北館	RC	2,867	1968 (S43)	52	2007 (H19)	1983 (S58)	未実施
41		本館	RC	3,298	1969 (S44)	51	2005 (H17)	1996 (H8)	1996 (H8)
42		南館	RC	525	1972 (S47)	48	不要	未実施	未実施
43		屋内運動場	RC+S	1,474	2010 (H22)	10	新耐震	未実施	未実施
44	名和 中学校	本館	RC	4,502	1979 (S54)	41	2009 (H21)	2016 (H28)	未実施
45		体育館	RC	1,394	1979 (S54)	41	2005 (H17)	未実施	2005 (H17)
46		北館	RC	2,761	1982 (S57)	38	不要	1996 (H8)	未実施
47	上野 中学校	本館	RC	2,240	1962 (S37)	58	2006 (H18)	2016 (H28)	2018 (H30)
48		中館	RC	2,452	1967 (S42)	53	2008 (H20)	2012 (H24)	1996 (H8)
49		南館	RC	2,904	1970 (S45)	50	2008 (H20)	1994 (H6)	1994 (H6)
50		柔剣道場	S	410	1980 (S55)	40	不要	未実施	未実施
51		屋内運動場	SRC	1,659	2003 (H15)	17	新耐震	未実施	未実施
52	平洲 中学校	本館	RC	4,886	1983 (S58)	37	不要	未実施	未実施
53		屋内運動場	RC	2,206	1984 (S59)	36	不要	2018 (H30)	2018 (H30)
54		北館	RC	1,351	1985 (S60)	35	不要	未実施	未実施
55	富木島 中学校	本館(東)	RC	2,931	1968 (S43)	52	2006 (H18)	1999 (H11)	2006 (H18)
56		本館(西)	RC	2,469	1969 (S44)	51	2006 (H18)		
57		北館	RC	1,048	1973 (S48)	47	不要	2015 (H27)	未実施
58		北館	RC	91	1981 (S56)	39	不要		
59		北館	S	1,558	1981 (S56)	39	不要		
60		柔剣道場	S	445	1982 (S57)	38	不要	未実施	未実施
61		屋内運動場	SRC	1,690	2008 (H20)	12	不要	未実施	未実施
62	横須賀 中学校	北館	RC	2,802	1963 (S38)	57	2009 (H21)	1997 (H9)	1986 (S61)
63		E V 棟	S	60	2007 (H19)	13	新耐震	未実施	未実施
64		中館	RC	3,300	1963 (S38)	57	2007 (H19)	1995 (H7)	1995 (H7)
65		本館	RC	2,585	1964 (S39)	56	2006 (H18)	1994 (H6)	1994 (H6)
66		屋内運動場	RC	1,513	1964 (S39)	56	不要	1990 (H2)	未実施
67		柔剣道場	S	408	1964 (S39)	56	2009 (H21)	未実施	未実施

No.	施設名称	主構造	延床面積 (㎡)	竣工年度	経過 年数	耐震改修	屋根 防水	外壁	
68	加木屋 中学校	北館	RC	4,148	1974 (S49)	46	2004 (H16)	1998 (H10)	2000 (H12)
69		本館	RC	3,912	1975 (S50)	45	2005 (H17)	1998 (H10)	1998 (H10)
70		技術棟	RC	1,266	1977 (S52)	43	不要	未実施	未実施
71		柔剣道場	S	447	1981 (S56)	39	不要		
72		屋内運動場	SRC	1,644	2009 (H21)	11	新耐震	未実施	未実施
73	明倫 調理場	調理室・事 務室	RC	845	1971 (S46)	49	2012 (H24)	2018 (H30)	1995 (H7)
74			S	798	1999 (H11)	21	不要		
75	加木屋 調理場	調理室・事 務室	RC	35	2005 (H17)	15	不要	2000 (H12) ※事務所のみ	未実施
76			RC	1,224	1974 (S49)	46	不要		
77			S	59	2005 (H17)	15	不要		

⑤ 施設関連経費の推移

小中学校における平成27年度(2015年度)から令和元年度(2019年度)の5年間における施設関連経費は、年間約3.3億円から約11.2億円で推移しており、5年間の平均は約5.8億円/年となっています。なお、平成30年度(2018年度)から令和元年度(2019年度)にかけて集中的に行った普通教室空調設備工事10.7億円を除いた5年間の平均は、約3.7億円/年となっています。

また、経費の内訳としましては、屋根・外壁等の改修や設備の更新費用であるその他施設整備費が最も高くなっており、平成30年度(2018年度)には一番高く、3.4億円となっています。これは、平成25年度(2013年度)に公共建築物保全指針を策定し、平成26年度(2014年度)以降、施設の長寿命化を図るため施設の保全を進めており、平成30年度(2018年度)から公共建築物保全基金を活用し、本格的に屋根や外壁の改修工事等の長寿命化工事を開始したことによるものです。令和元年度(2019年度)の0.8億円に減じた経緯については、工事の全体の費用の平準化により、空調設備工事以外の工事を抑えたものであり、普通教室空調設備工事を除いた、その他施設整備費5年間の平均は約2.1億円となっています。次に高いのは、光熱水費となっており、5年間の平均は約0.8億円/年となっています。

給食センターにおける平成27年度(2015年度)から令和元年度(2019年度)の5年間における施設関連経費は、年間約4.5千万円から約7.7千万円で推移しており、5年間の平均は約5.9千万円/年となっています。また、経費の内訳としましては、光熱水費が最も高くなっており5年間の平均は約3.1千万円/年となっています。次に高いのは、その他施設整備費となっており、平成30年度(2018年度)及び令和元年度(2019年度)のその他施設経費は、3千万円、2,280万円とほかの年度より高くなってはいますが、同様に基金を活用した長寿命化工事により、平成30年度(2018年度)に明倫調理場の屋上防水改修工事、令和元年度(2019年度)に空調設備改修工事を行ったことによるものです。5年間の平均は約1.2千万円/年となっています。

表 5 小中学校の施設関連費の推移

(単位：千円)

	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	5年平均
施設整備費	0	0	109,790	162,956 (0)	904,802 (0)	235,510 (21,958)
その他施設整備費	192,290	218,522	219,135	342,250	81,167	210,673
維持修繕費	18,282	21,786	25,503	21,745	17,149	20,893
光熱水費	84,728	80,579	84,436	87,934	86,939	84,923
委託費	31,149	30,966	30,142	30,949	34,750	31,591
施設関連経費合計	326,449	351,853	469,006	645,834 (482,878)	1,124,807 (220,005)	583,590 (370,038)

注) カッコ内の数字は普通教室空調機整備費を除いた費用

※「施設整備費」は新設整備、「その他施設整備」は屋根や外壁等の改修、設備の更新費用

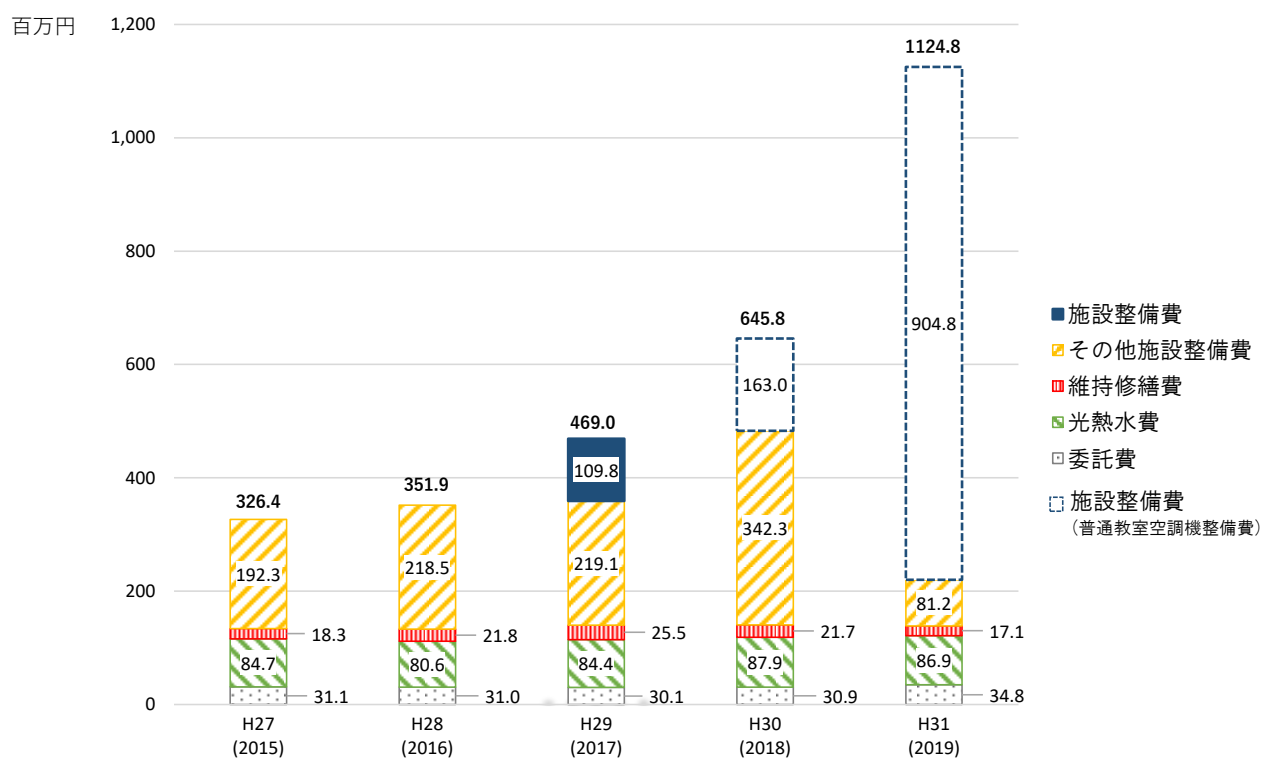


図 4 小中学校の施設関連費の推移

表 6 給食センターの施設関連費の推移

(単位：千円)

	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	5年平均
施設整備費	0	0	0	0	0	0
その他施設整備費	1,751	1,518	1,830	30,000	22,769	11,574
維持修繕費	6,432	8,365	8,615	9,953	10,174	8,708
光熱水費	33,274	29,934	30,320	31,888	31,443	31,372
委託費	7,732	4,967	8,250	5,485	8,787	7,044
施設関連経費合計	49,189	44,784	49,015	77,326	73,173	58,697

※「施設整備費」は新設整備、「その他施設整備」は屋根や外壁等の改修、設備の更新費用

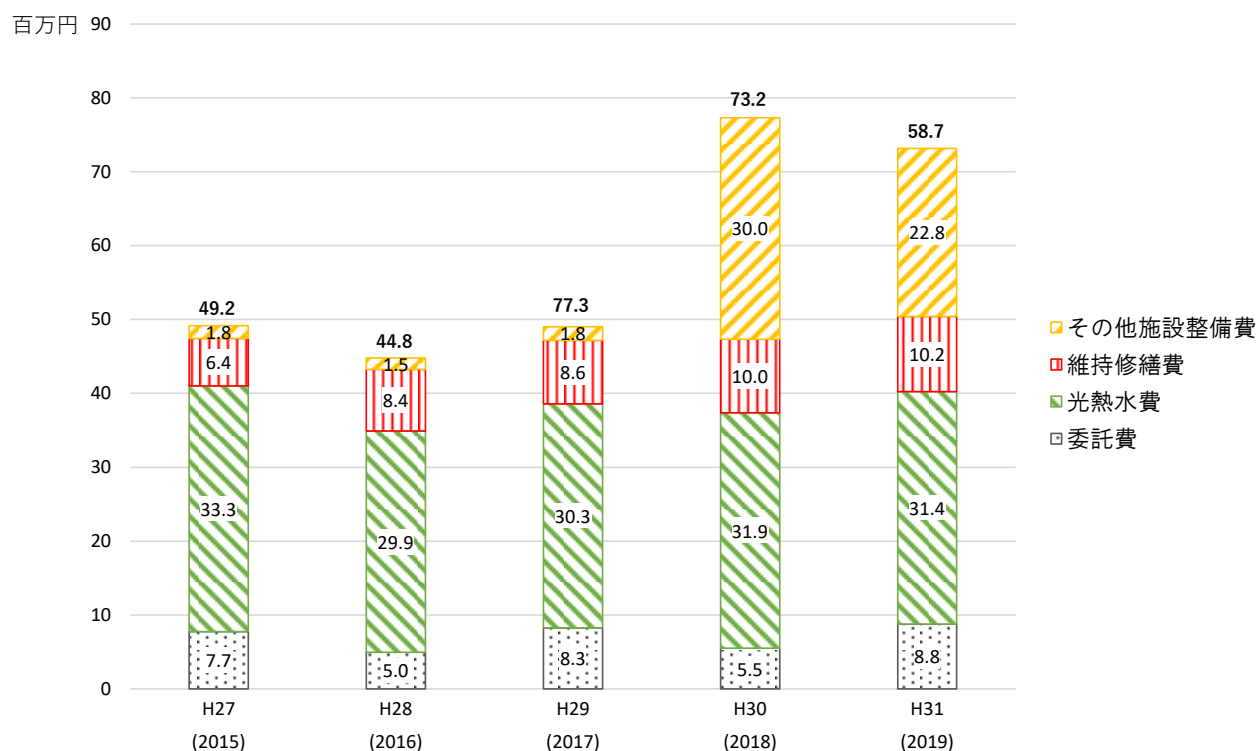


図 5 給食センターの施設関連費の推移

⑥ 児童生徒数及び学級数の推移

児童生徒数の推移については、昭和55年度（1980年度）の16,636人をピークに減少し、令和2年度（2020年度）には10,373人になっており、ピーク時と比較して6割程度となっています。

平成27年度（2015年度）から令和8年度（2026年度）までの最近の12年間の児童生徒数の推移では、児童生徒数の微増、微減はあるものの大きな変化はなく、令和6年度（2024年度）から令和8年度（2026年度）までわずかに減少していく推計となっています。

学級数の推移について、昭和57年度（1982年度）の428学級をピークに減少し、令和2年度（2020年度）には375学級になっており、ピーク時と比較して8割程度となっています。

近年は、児童生徒数は横ばいで推移しておりますが、小学校1年生、2年生、中学校1年生が35人学級に移行したことや小学校の特別支援学級が増加していることから、学級数については、増加しています。

なお、令和3年度（2021年度）から令和8年度（2026年度）の推計上の特別支援学級の学級数については、令和2年度（2020年度）の学級数を維持するものとして設定しています。

学校別の学級数の推移について、大田小学校及び加木屋小学校については、土地区画整理事業等が予定されていることから、今後、児童生徒数が大きく増えることが想定されます。

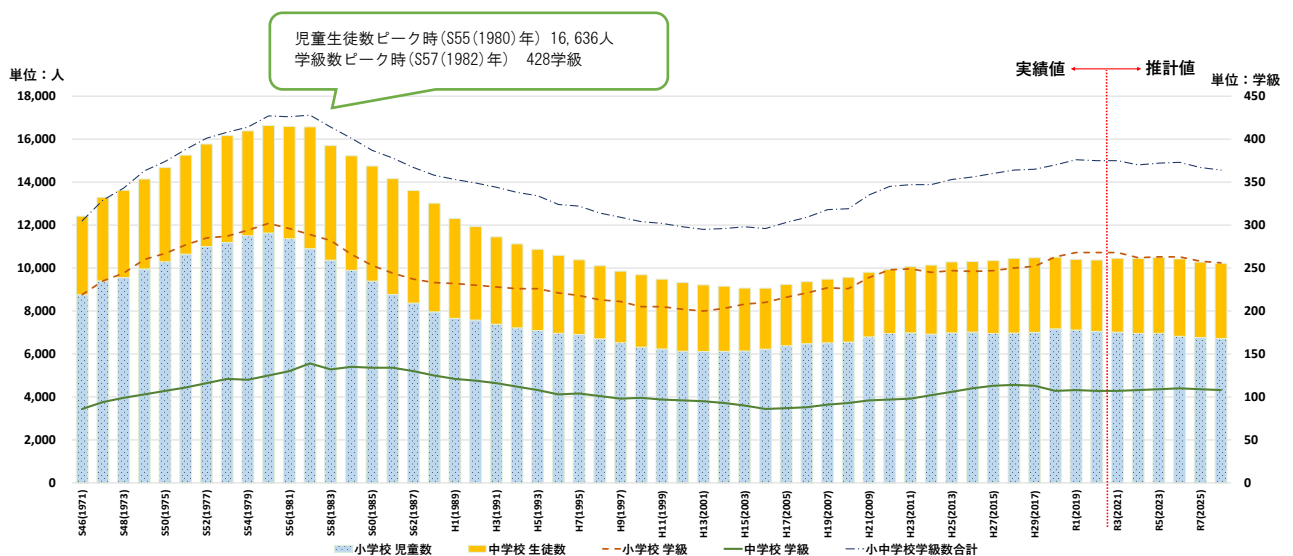


図 6 児童生徒数及び学級数の推移

表 7 学校別の児童数及び学級数の推移（各年度5月1日現在）

（単位：人、学級）

		実績										推計					
		S46 1971	S51 1976	S61 1986	H8 1996	H18 2006	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
緑陽小	児童数	485	671	515	439	537	629	601	579	564	540	516	511	508	494	471	461
	学級数	14	20	17	14	19	21	22	21	22	23	23	22(23)	21(23)	21(23)	20(21)	19(21)
名和小	児童数	1122	1198	871	754	757	829	854	888	883	877	859	868	843	809	766	720
	学級数	29	29	24	22	23	27	28	29	30	30	29	28(29)	28(29)	28(29)	26(28)	25(26)
渡内小	児童数	-	848	588	429	367	496	491	489	471	427	439	409	403	373	382	378
	学級数	-	23	16	15	14	18	18	18	18	16	17	16(16)	15(16)	14(15)	14(15)	14(15)
平洲小	児童数	1357	1259	970	837	938	897	879	892	861	852	843	856	838	827	830	839
	学級数	32	31	25	25	28	29	30	31	30	30	30	30(31)	30(31)	29(31)	30(32)	31(32)
明倫小	児童数	977	934	674	436	297	215	215	213	208	220	234	253	263	266	257	257
	学級数	25	26	19	15	13	10	9	10	12	12	14	14(15)	15(16)	16(17)	15(16)	15(16)
富木島小	児童数	1312	1408	1087	652	460	774	821	865	873	852	817	741	721	647	618	613
	学級数	32	35	28	19	16	26	25	28	29	28	27	25(25)	25(25)	24(24)	22(23)	22(23)
船島小	児童数	-	-	447	348	286	320	318	308	301	318	321	337	339	337	330	314
	学級数	-	-	14	13	12	14	14	14	14	14	14	14(14)	14(14)	14(14)	14(14)	14(14)
大田小	児童数	441	775	494	389	414	377	389	401	428	450	476	500	540	583	623	675
	学級数	12	21	15	13	15	16	15	15	16	16	17	17(18)	18(19)	20(21)	21(22)	22(23)
横須賀小	児童数	1573	1378	1147	925	1019	803	747	770	744	721	733	740	768	799	812	837
	学級数	37	35	30	26	33	28	26	28	26	27	26	26(26)	27(27)	29(29)	30(30)	30(31)
加木屋小	児童数	465	557	465	495	415	573	603	618	636	609	591	571	600	603	623	635
	学級数	12	15	15	17	15	21	23	25	26	25	25	25(25)	25(26)	25(26)	24(26)	24(26)
三ツ池小	児童数	-	534	417	297	251	302	300	317	326	322	326	330	328	322	317	312
	学級数	-	14	13	12	11	15	15	16	17	17	17	17(17)	17(17)	17(17)	17(17)	17(17)
加南小	児童数	1025	1084	1094	703	737	758	786	828	820	863	863	838	810	761	741	676
	学級数	26	28	28	22	22	25	27	28	28	30	29	28(29)	28(29)	26(28)	25(28)	23(26)
小学校計	児童数	8757	10646	8769	6704	6478	6973	7004	7168	7115	7051	7018	6954	6961	6821	6770	6717
	学級数	219	277	244	213	221	250	252	263	268	268	268	262(268)	263(272)	263(274)	258(273)	256(270)
名和中	児童数	-	-	576	356	338	520	535	529	501	514	519	508	498	480	494	485
	学級数	-	-	16	12	10	17	17	17	16	16	17	16	16	15	16	15
上野中	児童数	1241	1505	885	443	381	437	437	429	431	476	485	520	475	520	472	476
	学級数	29	36	23	14	13	15	14	14	16	17	15	16	15	16	15	15
平洲中	児童数	-	-	744	412	395	508	515	484	459	441	456	430	464	462	453	435
	学級数	-	-	18	12	12	17	17	16	16	15	15	14	15	15	15	14
富木島中	児童数	828	1006	1008	743	526	533	518	548	576	600	624	666	692	711	679	664
	学級数	20	25	25	21	17	18	18	18	19	19	19	20	21	22	21	21
横須賀中	児童数	1586	1104	1195	907	809	865	850	775	772	746	769	762	744	731	724	741
	学級数	37	27	29	26	23	28	27	24	23	22	23	23	22	21	21	22
加木屋中	児童数	-	994	980	542	441	617	622	574	551	545	581	613	652	700	686	701
	学級数	-	23	23	16	13	19	20	18	18	18	18	19	20	21	21	21
中学校計	児童数	3655	4609	5388	3403	2890	3480	3477	3339	3290	3322	3434	3499	3525	3604	3508	3502
	学級数	86	111	134	101	88	114	113	107	108	107	107	108	109	110	109	108
小中計	児童数	12412	15255	14157	10107	9368	10453	10481	10507	10405	10373	10452	10453	10486	10425	10278	10219
	学級数	305	388	378	314	309	364	365	370	376	375	375	370(376)	372(381)	373(384)	367(382)	364(378)

※ カッコ内の数字は段階的に35人学級にした場合の学級数

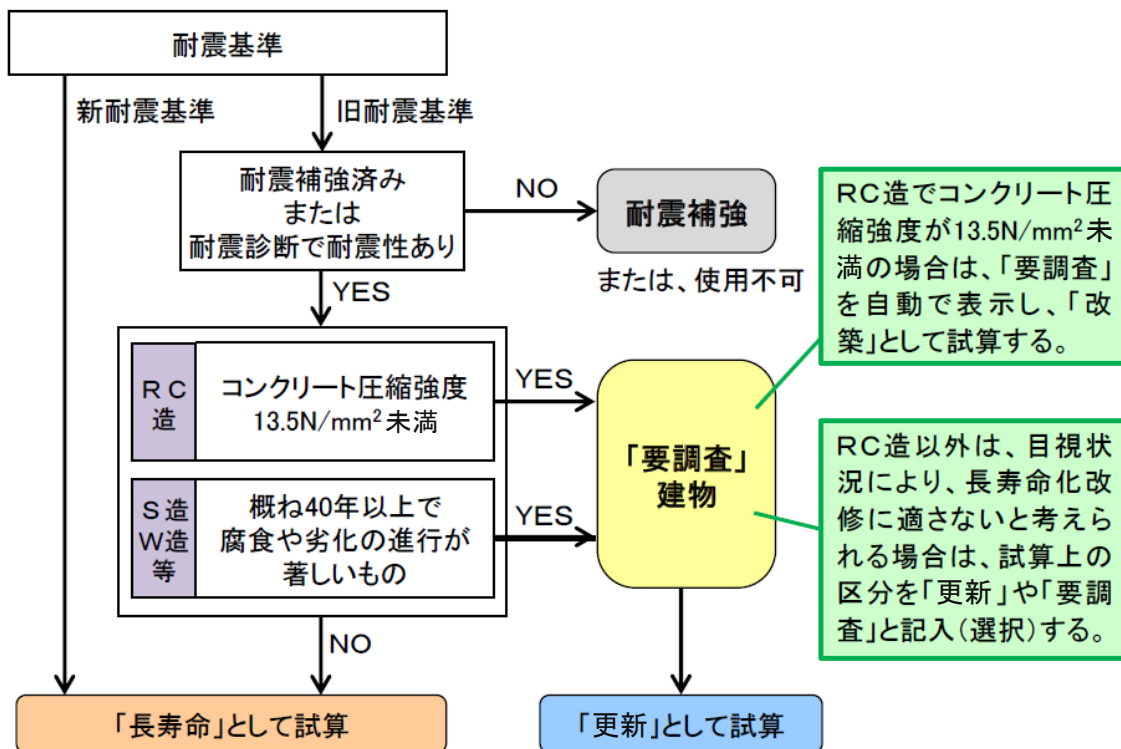
(2) 学校施設の老朽化状況の確認

① 構造躯体の健全性の状況の整理

計画策定にあたり、長時間の建物使用の可否を評価するため、築30年以上かつ延床面積が500㎡以上の建物を対象に、すでに実施してある耐震診断及び耐久度調査の結果を参考にし、耐震安全性、コンクリートの圧縮強度について文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」で示された評価方法を参考に構造躯体の健全性を整理しました。

表 8 構造躯体の健全性の判定項目

情報・評価		記載・判定内容
構造躯体の健全性	耐震安全性	新耐震・旧耐震基準 旧耐震基準については耐震診断結果
	長寿命化判定	RC造ではコンクリート圧縮強度(13.5N/m ²)をもとに「要調査」「長寿命」の判定



資料：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」

図 7 構造躯体の健全性の判定フロー

表 9 構造躯体の劣化状況の評価一覧

施設名称	建物名称	竣工年度	耐震安全性			長寿命化判定		
			基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	試算上の区分
緑陽小学校	本館	1971 (S46)	旧	H10	改修済	H25	26.2	長寿命
	南館	2010 (H22)	新	—	—	—	—	—
	屋内運動場	1973 (S48)	旧	H7	改修済	H28	21.7	長寿命
名和小学校	本館	1957 (S32)	旧	H8	不要	H25	17.3	長寿命
	中館	1965 (S40)	旧	H8	改修済	R1	25.4	長寿命
	北館	1968 (S43)	旧	H8	改修済	R1	18	長寿命
	屋内運動場	1969 (S44)	旧	H7	改修済	R1	31.9	長寿命
渡内小学校	本館	1973 (S48)	旧	H10	改修済	H27	22.2	長寿命
	南館	1975 (S50)	旧	H10	改修済	—	—	—
	屋内運動場	1975 (S50)	旧	H7	改修済	—	—	—
平洲小学校	本館	1957 (S32)	旧	H8	改修済	H26	14.1	長寿命
	中館	1967 (S42)	旧	H8	改修済	H26	12.5	要調査
	北館	1969 (S44)	旧	H8	改修済	H26	30.8	長寿命
	西館	1978 (S53)	旧	H8	—	H26	15.7	長寿命
	屋内運動場	1971 (S46)	旧	H7	改修済	H26	30.3	長寿命
明倫小学校	北館	1968 (S43)	旧	H10	改修済	H27	15.6	長寿命
	本館	1969 (S44)	旧	H10	改修済	R1	20.1	長寿命
	屋内運動場	1971 (S46)	旧	H7	改修済	R1	27.3	長寿命
富木島小学校	本館	1967 (S42)	旧	H9	改修済	H30	13	要調査
	中館	1965 (S40)	旧	H9	改修済	H30	23.5	長寿命
	南館	1965 (S40)	旧	H9	改修済	H27	20.5	長寿命
	屋内運動場	1970 (S45)	旧	H7	改修済	H30	18.9	長寿命
船島小学校	本館	1980 (S55)	旧	H10	改修済	H27	30.1	長寿命
	屋内運動場	1980 (S55)	旧	H7	—	—	—	—
大田小学校	北館	1972 (S47)	旧	H10	改修済	H27	20.5	長寿命
	本館	1976 (S51)	旧	H10	不要	—	—	—
	屋内運動場	1976 (S51)	旧	H7	改修済	—	—	—
横須賀小学校	1棟	1962 (S37)	旧	H9	改修済	H25	18.4	長寿命
	2棟	1962 (S37)	旧	H9	改修済	H30	25.1	長寿命
	3棟	1962 (S37)	旧	H9	改修済	H30	27.1	長寿命
	4棟	1964 (S39)	旧	H9	改修済	H30	24.7	長寿命
	本館	1966 (S41)	旧	H9	改修済	H30	18	長寿命
	屋内運動場	1999 (H11)	新	—	—	—	—	—
加木屋小学校	本館	2009 (H21)	新	—	—	—	—	—
	屋内運動場	2011 (H23)	新	—	—	—	—	—
三ツ池小学校	本館	1975 (S50)	旧	H10	改修済	H27	21.8	長寿命
	南館	1981 (S56)	旧	H10	—	—	—	—
	屋内運動場	1976 (S51)	旧	H7	改修済	—	—	—
加木屋南小学校	北館	1968 (S43)	旧	H9	改修済	H27	16.4	長寿命
	本館	1969 (S44)	旧	H9	改修済	R1	16.1	長寿命
	南館	1972 (S47)	旧	H9	不要	R1	24.5	長寿命
	屋内運動場	2010 (H22)	新	—	—	—	—	—
名和中学校	本館	1979 (S54)	旧	H10	改修済	H25	18	長寿命
	北館	1979 (S54)	新	—	—	—	—	—
	屋内運動場	1982 (S57)	旧	H8	改修済	—	—	—
上野中学校	本館	1962 (S37)	旧	H9	改修済	H25	23.6	長寿命
	中館	1967 (S42)	旧	H9	改修済	H30	13.6	長寿命
	南館	1970 (S45)	旧	H9	改修済	H30	12.5	要調査
	柔剣道場	1980 (S55)	旧	—	不要	—	—	—

施設名称	建物名称	竣工年度	耐震安全性			長寿命化判定		
			基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試算上の区分
上野中学校	屋内運動場	2003 (H15)	新	—	—	—	—	—
平洲中学校	本館	1983 (S58)	新	—	—	H27	30.1	長寿命
	北館	1984 (S59)	新	—	—	—	—	—
	屋内運動場	1985 (S60)	新	—	—	—	—	—
富木島中学校	本館	1968 (S43)	旧	H10	改修済	H27	26.5	長寿命
	北館	1969 (S44)	旧	H10	不要	R2	29.5	長寿命
	柔剣道場	1982 (S57)	新	—	—	—	—	—
	屋内運動場	2008 (H20)	新	—	—	—	—	—
横須賀中学校	北館	1963 (S38)	旧	H9	改修済	H30	24.8	長寿命
	中館	1963 (S38)	旧	H9	改修済	H25	19.4	長寿命
	本館	1964 (S39)	旧	H9	改修済	H30	26.9	長寿命
	柔剣道場	1964 (S39)	旧	H20	改修済	—	—	—
	屋内運動場	1964 (S39)	旧	H8	不要	H30	18.8	長寿命
加木屋中学校	北館	1974 (S49)	旧	H10	改修済	H25	25.2	長寿命
	本館	1975 (S50)	旧	H10	改修済	—	—	—
	技術棟	1977 (S52)	旧	H10	改修済	—	—	—
	屋内運動場	2009 (H21)	新	—	—	—	—	—
明倫調理場	調理室・事務室	1971 (S46)	旧	H15	改修済	H28	32.2	長寿命
加木屋調理場	調理室・事務室	1974 (S49)	旧	H15	不要	H29	25.3	長寿命

※ 耐久度調査（圧縮強度の調査）は昭和50年以降のRC造で同一敷地内の1棟を調査している建築物については、構造躯体の健全性に問題がないことを確認しているため、耐久度調査を省略（平成27年度以降）しています。

評価の結果、平洲小学校中館、富木島小学校本館、上野中学校南館については、コンクリート圧縮強度の数値が13.5N/mm²未満となっており、文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」では、「要調査」となり更新（建替え）として試算することになっていますが、上記の3施設については、耐力度調査により、コンクリート圧縮強度の調査をはじめ、鉄筋の腐食度の調査、コンクリートの中性化深さの調査及び塩化物劣化度判定の調査を行っており、その調査の総合評価では、長寿命化が可能であることが確認できているため、今後の躯体の劣化状況を注視しながら、他の施設と同様に長寿命化を図っていくものとします。

② 構造躯体以外の劣化状況の整理

構造躯体以外の劣化状況について、劣化状況調査票及びマニュアルチェックシートを基に、文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」に沿った5部位の劣化調査を行いました。

現場調査を実施した屋根・屋上は、漏水の有無、防水層の破断、破損、表面の劣化、錆や塗装の剥がれ等、外壁は、鉄筋の腐食に伴った剥落、浮き、開口部付近等のひび割れ本数、塗装のふくれ、割れ、剥がれ、シーリングの劣化状況等を判断材料に評価しています。

内部仕上げ、電気設備、機械設備は、部位の全面的な改修年からの経過年数を基本とし、4段階

(A、B、C、D)で評価し、Aを100点、Bを75点、Cを40点、Dを10点とし、100点満点で数値化した健全度を算定します。健全度の数値が小さいほど建物全体の劣化が進んでいることを示しています。

この調査は、今後の維持・更新コストの試算に活用するほか、具体的な整備内容、整備時期等の検討に活用することを目的として実施しています。

表 10 劣化状況評価

区分	評価方法	評価基準																				
評価基準	6月に現地調査を実施し、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価	<p>評価基準</p> <p>目視による評価【屋根・屋上、外壁】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>概ね良好</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等</td> </tr> </tbody> </table> <p>経過年数による評価【内部仕上げ、電気設備、機械設備】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>20年未満</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>20～40年</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>40年以上</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合</td> </tr> </tbody> </table>	評価	基準	A	概ね良好	B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)	C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)	D	早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等	評価	基準	A	20年未満	B	20～40年	C	40年以上	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合
評価	基準																					
A	概ね良好																					
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)																					
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)																					
D	早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等																					
評価	基準																					
A	20年未満																					
B	20～40年																					
C	40年以上																					
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合																					

健全度の算定	各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標	①部位の評価点 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>		評価点	A	100	B	75	C	40	D	10	②部位のコスト配分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>コスト配分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 屋根・屋上</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>2 外壁</td> <td>17.2</td> </tr> <tr> <td>3 内部仕上げ</td> <td>22.4</td> </tr> <tr> <td>4 電気設備</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>5 機械設備</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	部位	コスト配分	1 屋根・屋上	5.1	2 外壁	17.2	3 内部仕上げ	22.4	4 電気設備	8.0	5 機械設備	7.3	計	60
			評価点																								
A	100																										
B	75																										
C	40																										
D	10																										
部位	コスト配分																										
1 屋根・屋上	5.1																										
2 外壁	17.2																										
3 内部仕上げ	22.4																										
4 電気設備	8.0																										
5 機械設備	7.3																										
計	60																										
③健全度 <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;"> 総和(部位の評価点×部位のコスト配分) ÷ 60 </td> </tr> </table>		総和(部位の評価点×部位のコスト配分) ÷ 60																									
総和(部位の評価点×部位のコスト配分) ÷ 60																											

資料：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」

調査の結果、屋上防水については、2棟（全体の約2％）の建物がD評価、19棟（全体の約23％）の建物がC評価、外壁については、4棟（全体の約5％）の建物がD評価、23棟（全体の約28％）の建物がC評価でした。内部仕上げ、電気設備については、61棟（全体の約74％）の建物がC評価、機械設備については、2棟（全体の約2％）の建物がD評価、61棟（全体の約74％）の建物がC評価という結果となりました。

棟別の劣化状況の評価結果は次ページ、表11のとおりとなっています。

表 11 劣化状況の評価一覧

施設名	建物名	屋根 (防水)	外壁	内部 (仕上)	電気設備	機械設備	健全度	【是正箇所・内容】
緑陽小学校	本館	B	B	C	C	D	49	・防水 南館で不陸による排水不良が一部あり。現在雨漏り等被害はなし。
	南館	A	B	A	A	A	93	・外壁 本館、南館1階南側及び東側に軒天の破れ、一部にクラックや塗装浮きあり。現在雨漏り等被害はなし。
	屋内運動場	B	A	C	C	C	60	・内部 本館各階に床シートめくれ、屋内運動場床は老朽化による劣化
	プール管理棟	A	A	A	A	A	100	・電気 本館教室の照明器具安定器に不具合あり。修繕にて照明器具取替対応している。 ・機械 職員室空調機の故障のためR3に計上
名和小学校	本館	A	B	C	C	D	51	・屋上 北館屋上の防水シートの浮きや、目地の劣化がみられる。雨天時に雨漏りが発生することがあるため、現在は応急修繕で対応済み。令和3年に屋上防水を計画している。
	中館	B	B	C	C	C	53	・外壁 北館1階にクラック、上裏の爆裂あり。北館南側上裏は鉄筋露出箇所あり。雨天時に雨漏れが発生することがあるため、現在は応急修繕で対応済み。令和3年に外壁改修計画している。
	北館	D	D	C	C	C	29	・内部 本館教室に床板のひずみ、北館3階天井に雨漏り跡
	屋内運動場	A	A	C	C	C	62	・電気 自動火災報知設備の不具合のためR3に計上
	プール管理棟	B	A	B	B	B	82	・機械 本館・中館・北館の照明器具の安定器不具合 トイレの配管のつまり、P0教室空調機の故障
渡内小学校	本館	C	C	C	C	C	40	・防水 本館、南館屋上防水の目地の劣化あり。
	南館	C	C	C	C	C	40	・外壁 本館3階南側や1階北側にクラックや膨れあり。南館上裏の爆裂あり。南館に通じる渡り廊下で雨天時に雨漏りが発生することがあるが、修繕で対応したため経過観察とする。屋内運動場は上裏の爆裂や鉄筋の露出ある。雨天時に雨漏りが発生することがあるため令和3年に外壁改修を計画している。
	屋内運動場	B	D	C	C	C	34	・内部 本館、南館雨漏れ跡、本館1階配膳室シャッターの錆
	プール管理棟	B	C	C	C	C	43	・電気 経年による劣化はあるが、不具合はなし。 ・機械 プールろ過機の故障（R3から民間委託の予定）
平洲小学校	本館	C	B	C	C	C	50	・防水 1階西階段付近で過去に雨漏れあり。現在雨漏り等被害はなし。
	中館	B	B	C	C	C	53	・外壁 本館軒天に塗装の剥離、クラックあり。中館2階EXP. J付近にクラック、北側外壁にクラック、錆汁、塗装の浮き（水膨れ）、屋内運動場外部階段下端に爆裂あり。現在雨漏り等被害はなし。
	北館	B	C	C	C	C	43	・内部 中館2・3階の階段床劣化箇所、北館1階廊下床シートの被害
	西館	C	C	C	C	C	40	・電気 本館・中館・北館・西館の照明器具の安定器不具合
	屋内運動場	B	B	C	C	C	53	・機械 西館2階男子トイレの汚水管の漏れ
	プール管理棟	B	B	C	C	C	53	・防水 本館屋上防水層に膨れ、破れ箇所あり。現在雨漏り等被害はなし。
明倫小学校	北館	C	C	C	C	C	40	・外壁 本館、北館上裏に塗装の破れ・鉄筋の露出あり、シーリング材硬化がみられる。現在雨漏り等被害はなし。
	本館	C	C	C	C	C	40	・内部 本館床のひずみ、北館3階第1理科室天井に雨漏り跡
	屋内運動場	A	A	C	C	C	62	・電気 インターホンの不具合
	プール管理棟	A	C	C	C	C	45	・機械 給水管の錆による漏れ
富木島小学校	本館	B	B	C	C	C	53	・防水 中館3階集会室、南館校長室強雨時に雨漏りあり。修繕にて対応したため経過観察とする。
	中館	C	B	C	C	C	50	・外壁 中館昇降口、配膳室にクラック、南館上裏に爆裂、塗装の膨れあり。現在雨漏り等被害はなし。
	南館	C	C	C	C	C	40	・内部 中館3階集会室雨漏りによる天井の剥がれ
	屋内運動場	A	A	C	C	C	62	・電気 経年による劣化はあるが不具合なし。
	プール管理棟	B	B	B	B	B	75	・機械 校長室空調機の不具合
船島小学校	本館	C	C	C	C	C	40	・防水 本館2・3階に強雨時に雨漏りしている箇所あり。修繕にて対応したため経過観察とする。
	屋内運動場	B	C	C	C	C	43	・外壁 本館西昇降口の軒裏塗装剥離多数・鉄筋露出あり。屋内運動西面外壁にクラックあり。現在雨漏り等被害はなし。 ・内部 経年による劣化はあるが不具合はなし。 ・電気 経年による劣化はあるが不具合はなし。 ・機械 本館男子女子トイレ配管腐食
大田小学校	北館	B	B	C	C	C	53	・防水 本館はベランダから雨天時に雨漏りすることある。現在は応急修繕で対応済み。令和5年に防水改修(屋上・ベランダ)を計画している。
	本館	C	A	C	C	C	57	・外壁 シーリング材の硬化がみられる。
	屋内運動場	B	A	C	C	C	60	・内部 北館4階調理室・1階図書室壁に雨漏り跡、北館床シートの劣化 ・電気 防火シャッター制御盤の不具合 ・機械 職員室空調機の故障のためR3に計上
横須賀小学校	1棟	C	C	C	C	C	40	・防水 本館及び1~4棟教室・廊下に雨漏り跡あり。現在雨漏り等被害はなし。
	2棟	B	B	C	C	C	53	・外壁 1棟1階にクラック、塗装の剥がれ多数あり。現在雨漏り等被害はなし。
	3棟	B	B	C	C	C	53	・内部 教室、廊下の床の劣化、ひずみ
	4棟	B	B	C	C	C	53	・電気 経年による劣化はあるが不具合はなし。
	本館	B	B	C	C	C	53	・機械 トイレ配管、シンク(流し)配管のつまり
	屋内運動場	B	B	B	B	B	75	
	プール管理棟	B	B	B	B	B	75	

A=異常なし

B, C=経年による劣化や、軽度な是正箇所。軽度な是正箇所は、原因の確認及び必要な処置(修繕)をした上で、経過観察とする。

D=是正箇所の拡大や、被害がある場合は応急修繕を行い、年次計画に位置づけを行う。

表 11 劣化状況の評価一覧

施設名	建物名	屋根(防水)	外壁	内部(仕上)	電気設備	機械設備	健全度	【是正箇所・内容】
加木屋小学校	本館	A	C	A	A	A	83	・外壁 本館3~R階階段にクラックあり、屋内運動場開放渡り廊下・南側外壁に膨れあり。現在雨漏り等被害はなし。
	南館	A	B	A	A	A	93	
三ツ池小学校	本館	B	B	C	C	C	53	・防水 南館天井雨漏り跡あり。現在雨漏り等被害はなし。 ・外壁 南館、屋内運動場上裏に塗装の剥がれあり。 ・内部 窓サッシの劣化 ・電気 非常放送設備の不具合 ・機械 防火シャッター降下不良の不具合のためR3に計上 職員室・図書室空調機の不具合
	南館	B	B	B	B	B	75	
	屋内運動場	B	B	C	C	C	53	
	プール管理棟	B	B	B	B	B	75	
加木屋南小学校	北館	C	B	C	C	C	50	・防水 北館屋上にたわみ・破れあり。南館は雨天時に雨漏りすることがあるため、応急修繕で対応済み。 令和3年に屋上防水を計上している。 ・外壁 北館、本館、南館クラック、塗装膨れ箇所あり。南館は強風時に雨漏りすることがあるため、応急修繕で対応済み。令和3年に外壁改修を計上している。 ・内部 床シートの劣化、教室通気口蓋の劣化 ・電気 経年による劣化はあるが不具合はなし。 ・機械 経年による劣化はあるが不具合はなし。
	本館	C	B	C	C	C	50	
	南館	D	D	C	C	C	29	
	屋内運動場	A	A	A	A	A	100	
	プール管理棟	B	C	C	C	C	43	
名和中学校	本館	B	D	C	C	C	34	・防水 北館屋上防水全体的に劣化あり。 ・外壁 本館1階、4階に爆裂・鉄筋露出多数ありのため、令和5年に計画している。北館屋外階段接続部上裏の剥離があるが、修繕で対応したため経過観察とする。 ・内部 本館・北館床シートの劣化、北館1階廊下ソリ被害 ・電気 防火シャッター制御盤の経年劣化 ・機械 本館1階トイレ配管のつまり
	北館	C	C	B	B	B	62	
	屋内運動場	A	B	C	C	C	55	
	プール管理棟	B	B	C	C	C	53	
上野中学校	本館	B	A	C	C	C	60	・防水 本館3階、中館2階廊下の天井に雨漏り跡あり。現在雨漏り等被害はなし。 ・外壁 中館2階上裏に塗装剥離・浮き、昇降口にクラックあり。南館1階爆裂・鉄筋露出あり。現在雨漏り等被害はなし。 ・内部 本館2階教室床、柔剣道場畳の劣化、被服室床の凸凹 ・電気 経年による劣化はあるが不具合はなし。 ・機械 図書室空調機の故障のためR3に計上
	中館	B	B	C	C	C	53	
	南館	B	C	C	C	C	43	
	柔剣道場	B	B	B	B	B	75	
	屋内運動場	B	B	A	A	A	91	
	プール管理棟	B	B	C	C	C	53	
平洲中学校	本館	B	C	B	B	B	65	・防水 本館2階来客用階段天井雨漏り箇所あり。 ・外壁 本館2階、4階配膳室にクラックあり。雨天時に雨漏りすることがある。北館2階渡廊下付近で強雨時に雨漏りすることがある。修繕で対応したため、経過観察とする。 ・内部 経年による劣化はあるが不具合はなし。 ・電気 照明器具安定器の不具合 ・機械 校長室空調機の故障のためR3に計上、本館トイレ配管のつまり
	北館	B	C	B	B	B	65	
	屋内運動場	A	A	B	B	B	84	
富木島中学校	本館	C	C	C	C	C	40	・防水 本館PC教室トクトライト、美術室より強雨時に雨漏りあり。修繕にて対応したため経過観察とする。北館1・2階天井雨漏り箇所があるが、現在雨漏り等被害はなし。 ・外壁 本館3階廊下・屋内運動場キョウコサッシより雨漏りあり。修繕にて対応したため経過観察とする。 ・内部 ロッカーの老朽化 ・電気 照明器具安定器の不具合、プール管理棟分電盤の老朽化 ・機械 職員室空調機の故障のためR3に計上 調理室内ダクトの異常音
	北館	C	B	C	C	C	50	
	屋内運動場	A	C	A	A	A	83	
	柔剣道場	B	B	B	B	B	75	
	プール管理棟	B	B	C	C	C	53	
横須賀中学校	北館	B	B	C	C	C	53	・防水 中館2・3階に天井雨漏り跡あり。現在雨漏り等被害はなし。 ・外壁 北館3階外壁にクラック、中館北側軒天に爆裂あり。屋内運動場南側軒天爆裂・塗装剥離あり。現在雨漏り等被害はなし。 ・内部 屋内運動場壁面(板)・床の劣化、ロッカーの老朽化 ・電気 照明器具安定器の不具合 ・機械 職員室空調機の不具合
	中館	C	B	C	C	C	50	
	本館	B	B	C	C	C	53	
	屋内運動場	B	B	C	C	C	53	
	柔剣道場	B	B	C	C	C	53	
	プール管理棟	B	B	B	B	B	75	
加木屋中学校	北館	B	C	C	C	C	43	・防水 北館3・4階廊下、本館4階PC室、技術棟3階天井に雨漏り箇所あり。現在雨漏り等被害はなし。 ・外壁 北館外壁にクラック・上裏に爆裂、本館外部階段爆裂・鉄筋露出あり。現在雨漏り等被害はなし。 ・内部 ロッカーの老朽化 ・電気 照明器具安定器の不具合 ・機械 職員室空調機の不具合
	本館	C	B	C	C	C	50	
	技術棟	B	B	C	C	C	53	
	屋内運動場	A	A	A	A	A	100	
	プール管理棟	B	B	C	C	C	53	
明倫調理場	調理室・事務室	B	C	C	C	C	43	・防水 経年による劣化はあるが不具合なし ・外壁 経年による劣化はあるが不具合なし ・内部 壁にクラックあり、調理場内床に剥がれあり。 ・電気 経年による劣化はあるが不具合なし ・機械 温度調節機能の不足
	調理室・事務室	C	C	C	C	C	40	・防水 劣化による雨漏りがあるが、現在は応急修繕で対応済み。令和4年に屋上防水を計上している。 ・外壁 壁にクラックあり。令和4年に外壁改修を計画している。 ・内部 基礎部分にクラック、床に剥がれ、天井にカビあり ・電気 経年による劣化はあるが不具合はなし。 ・機械 男子トイレの配管のつまり、トイレの劣化 温度調節機能の不足

A=異常なし

B, C=経年による劣化や、軽度な是正箇所。軽度な是正箇所は、原因の確認及び必要な処置(修繕)をした上で、経過観察とする。

D=是正箇所の拡大や、被害がある場合は応急修繕を行い、年次計画に位置づけを行う。

(3) 将来コストの見通し(従来型)

60年で更新(建替え)する従来型(事後保全型)の場合、今後40年間のコストは674億円(16.9億円/年)かかる試算となります。これは直近5年間の施設関連経費4.3億円/年の約3.9倍となっています。

また、既に築40年経過した建物が7割以上を占めており、令和3年度(2021年度)~令和22年度(2040年度)の20年間では更新(建替え)時期が集中するため、時期及び財政支出の平準化の対応策を検討する必要があります。

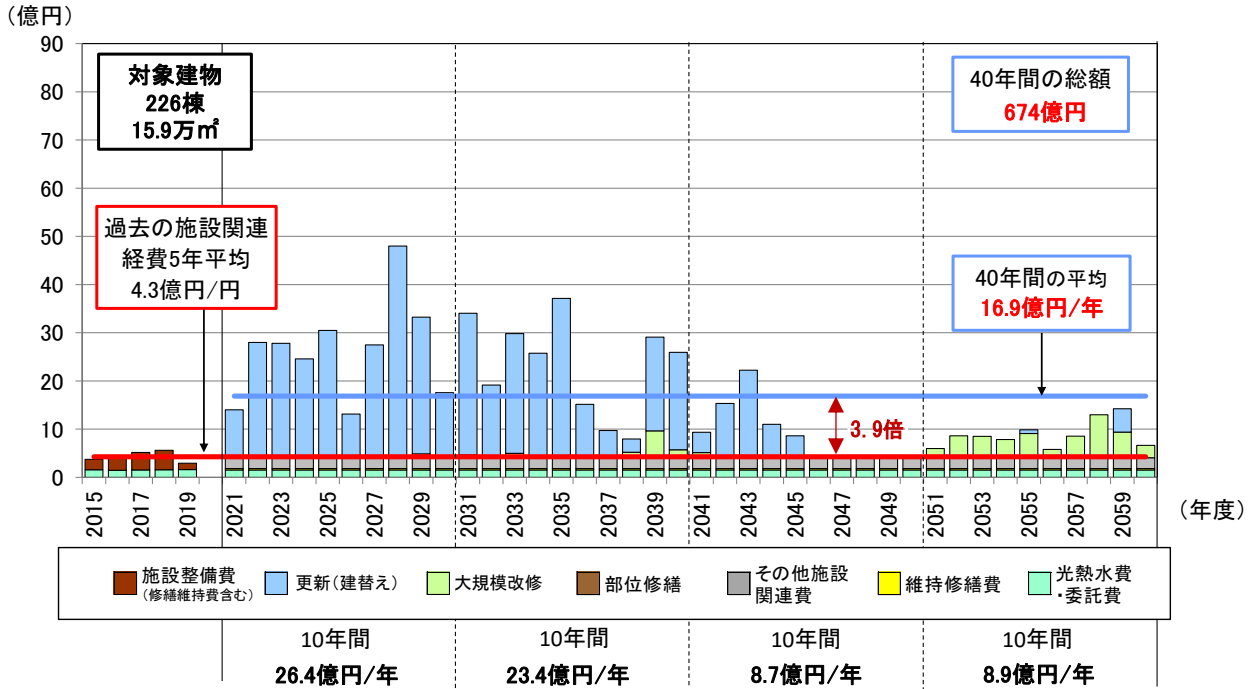


図 8 今後の維持・更新(建替え)コスト(従来型)【築30年で大規模改修、築60年で更新】

表 12 費用区分・内容

費用区分	費用内容	周期	工事期間	費用	費用根拠
更新(建替え)	施設の建替えにかかる費用	60年	2年	学校: 33.0万円/㎡ 給食センター: 58.0万円/㎡	文部科学省の学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書による ※給食センターの建替え費用については直近の他市の実績を参考
大規模改修	機能回復にかかる費用	30年	1年	体育館 5.54万円/㎡ その他 6.30万円/㎡	
その他施設整備費	施設整備にかかる費用	毎年	1年	2.22億円	その他の施設整備費(新築以外)の過去5年間平均
維持修繕費	維持修繕にかかる費用	毎年	1年	29.6百万円	維持修繕に係る費用の過去5年間平均
光熱水費委託費	光熱水費、委託にかかる費用	毎年	1年	1.55億円	光熱水費及び委託料に係る過去5年間平均

(4) 学校施設の実態を踏まえた課題

課題1 更新（建替え）・改修時期及び財政支出の平準化

本計画の対象とする学校施設のうち、築40年以上経過した建物が、面積割合で77%を占めており、経年による老朽化が進んでいます。今後は、これらの施設の改築時期や老朽化対策としての外壁改修や屋上防水工事などを行う時期が重なってくることから、計画的な定期修繕を実行し、施設の長寿命化を図るとともに、更新（建替え）及び改修時期の平準化を行い、財政支出の平準化を図っていく必要があります。

課題2 老朽化、長寿命化への対応

現状の学校施設は、予防保全により外壁改修や屋上防水などを進めている一方、空調設備など耐用年数を超過している設備等が存在することから、劣化状況を踏まえながら、計画的に改修を進める必要があります。また、施設の長寿命化を図るため、長期使用に向けたコンクリートの中性化対策工事等、耐久性の向上に関する整備も行っていく必要があります。

課題3 施設規模の適正化

学校によっては、今後、土地区画整理事業の影響により児童生徒数が増加していく学校がある一方で、将来的な人口減少に伴い、児童生徒数の減少や学級数が減少し、適正規模に満たない学校が出てくることが見込まれます。施設を更新（建替え）する際の施設規模の決定にあたっては、児童生徒数、学級数のその後の推移を適切に把握し、適正な規模で更新（建替え）を行っていく必要があります。また、他の地域密着型施設との複合化等を視野に入れながら施設規模について、継続的に検討を行う必要があります。

課題4 安心・安全な学校給食を提供するための整備

学校給食センターは、安心して安全な給食の提供のため、常に安全で衛生的な環境を保つ必要があることから、予防保全として計画的に建築物の改修を行うとともに、蒸気ボイラー等の設備についても改修・更新を行っていく必要があります。

また、年々増えている食物アレルギーを有する児童生徒への対応が求められています。

3章 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 学校施設の規模、配置計画等の方針

① 地域の拠点施設としての複合化や集約化

・学校施設は地域の交流機能や防災機能等を持つ拠点施設です。そのため、施設の更新（建替え）の際には、地域の実情に応じ、地区公民館・市民館や児童館等、他の地域密着型施設との複合化や集約化についての検討を進めます。また、複合化や集約化に当たっては、児童生徒等の安全や教育環境へ十分に配慮します。

② 規模の適正化による更新時等の延床面積の縮減

・学校施設の規模については、児童生徒数や学級数の推移等を見据え、継続的に見直しを行いながら適正化を図ります。

・東海市人口ビジョンでは、年少人口（0～14歳）は近年、横ばいで推移しており、約30年後の2050年に17,435人まで増加しますが、その後、減少に転じ、約40年後の2060年には16,583人まで減少すると推計しています。

【小中学校】

・大田小学校及び加木屋小学校については、土地区画整理事業等が予定されており、児童数及び学級数が増加することが想定されるため、適切な学級数を確保します。

・長期的には児童生徒数が減少する見込みであること及び特別支援学級数が増加していることも視野に入れつつ、適正な施設規模及び配置について継続的に検討を行います。また、他の地域密着型施設との複合化や集約化により、施設の共用等も見据え、更新（建替え）の際には、延床面積の縮減を図ります。

【学校プール】

・施設の老朽化が進み、維持管理経費が多大となっていること、また、教員の負担軽減が求められていることなどの観点から、施設への移動時間等の条件を考慮し、順次、民間プールを活用した水泳授業への移行を進めています。民間プールの利用が可能となった学校については、不要となったプール本体や管理棟を除却します。

なお、水泳授業の民間委託への移行がされていない学校の学校プールの更新（建替え）は行わず、当面の間、長寿命化を進めることとします。

【給食センター】

・長期的には児童生徒数が減少する見込みであること、また、食物アレルギー対応としての調理作業の差別化が必要であることなどを踏まえ、適正な施設規模及び配置について検討を行います。更新（改築）時には、現在2施設ある給食センターの統合等も含め検討します。

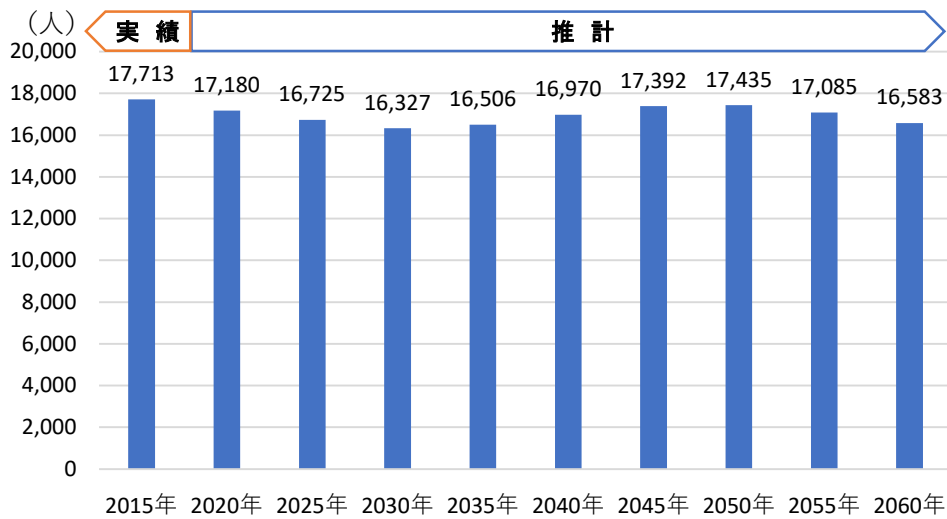


図 9 東海市人口ビジョン（第2期東海市総合戦略）による年少人口推計

表 13 再編計画での方向性と論点（学校施設）

施設類型	管理に関する基本方針	施設検討の方向性と論点
学校 ・小中学校 ・学校給食センター	<p>○学校施設は、将来的には児童・生徒数の変動に合わせた施設の整備などによって、学校規模の適正化を図っていきます。</p> <p>○給食センターは、児童・生徒数の変動に合わせた施設規模の適正化を図っていきます。</p>	<p>■推進項目（方向性） □検討項目（論点）</p> <p>■学校施設は、将来的な児童生徒数の変動に合わせて、<u>学校規模の適正化</u>を図ります。</p> <p>■学校施設は、<u>地域の拠点として複合化や集約化</u>を推進します。</p> <p>□学校施設を<u>地域の拠点として複合化や集約化</u>をする場合は、<u>メリットを生かし、デメリットを少なくするための施設配置等を検討</u>します。</p> <p>■学校プールは、<u>民間施設を活用した水泳授業の移行</u>を進めます。</p> <p>■学校給食センターは、<u>更新する際は施設統合等</u>を行い、<u>既存施設の延床面積に対して縮減</u>を図ります。</p>

(2) 改修等の基本的な方針

① 点検・診断結果に基づく予防保全による長寿命化

- ・児童生徒等が安心・安全に学校施設を利用できるよう、構造躯体以外の劣化状況の評価など、点検及び診断結果に基づき優先順位を定め、計画的に修繕及び改修を行います。
- ・目標耐用年数及び改修周期等に基づき、定期修繕や大規模改修による予防保全を行いながら長寿命化を進めます。

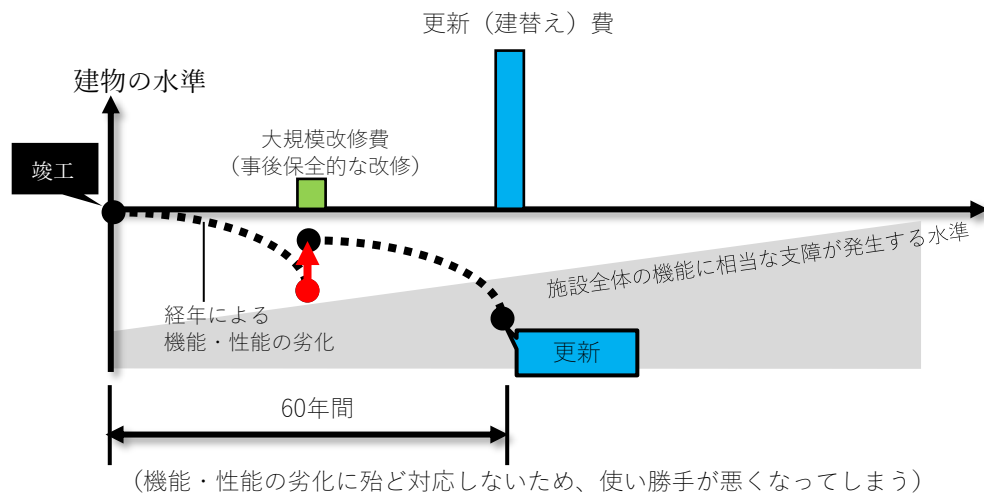


図 10 事後保全のイメージ

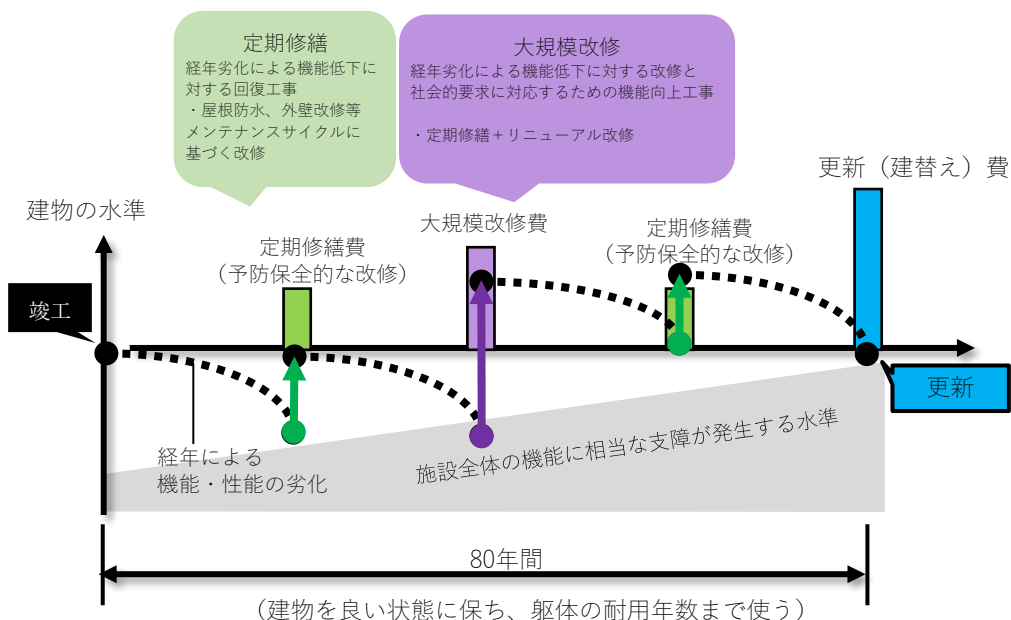


図 11 予防保全のイメージ

表 14 目標耐用年数

構造	目標使用年数
鉄筋コンクリート造 (RC) 鉄筋鉄骨コンクリート造 (SRC) 重量鉄骨造 (S)	80年以上
軽量鉄骨造 (S) 木造 (W) コンクリートブロック造 (CB)	50年以上

表 15 改修周期

区分	改修周期	
屋根	シート系防水・塗膜防水等	20年
	屋根長尺金属板等	30年
外壁	外壁仕上塗材	20年
	外壁既成板	30年
電気設備	受変電 (高圧)	30年
	発電	30年
	自動火災報知	20年
機械設備	空調	20年
	給排水	30年
	給湯用・調理用ボイラー	15年
	昇降機	30年
インフラ施設	プール本体 (RC) プール本体 (FRP)	30年
	遊具 (鋼製)	29～33年
	バックネット (鋼材)	35年
	照明灯 (鋼材)	41年
	プレハブ冷凍庫・冷蔵庫	10年
	給食用調理機器	15年

※インフラ施設の改修周期は「公園施設長寿命化計画策定指針 (案)【改訂版】(国土交通省都市局公園緑地・景観課策定)」を参照

② 計画的な更新(建替え)による財政支出の平準化

・本市が保有する公共建築物の延床面積をみると、学校施設は割合が最も多く、また、築40年以上経過する施設が7割以上を占めることから、施設の更新(建替え)及び改修が集中しないよう、劣化状況を定期的に把握しつつ、計画的に前倒し更新(建替え)と長寿命化を行いながら、財政支出の平準化を図ります。原則として、更新(建替え)は、複数の学校施設の工事が重ならないよう計画します。

《更新(建替え)の優先順位付け》

- ・昭和30年代に竣工され、築50年以上経過し老朽化が進んでいる施設は、耐用年数の残年数が短いことから、更新(建替え)の検討を行います。
- ・小規模校など、児童生徒数及び学級数が少ない学校については、快適で安全な学校生活を確保するため、大規模改修により施設の機能向上を図り、80年以上の施設の利用を目指します。その上で、児童生徒数及び学級数の減少がさらに進んだ場合等には、延床面積の縮減や統廃合、小中一貫校等の検討を行うこととします。

《更新(建替え)の基本単位》

- ・本市の学校施設の多くは増築を繰り返しており、築年数の異なる棟が複数ある構成になっているため、目標耐用年数まで使用し、棟単位で更新(建替え)することとします。しかしながら、校舎等の配置、教育等への影響、安全面、効率面等を考慮し、更新(建替え)を棟ごととするか、学校施設全体とするかを総合的に判断します。

③ 社会環境の変化等の整備水準への反映

- ・学校施設は、子どもたちの学習・生活の場であり、時代の変化とともに多様化する学習活動や社会のニーズへの対応が必要となります。現在はICT環境整備やバリアフリー化、環境に配慮した省エネルギー化などを整備水準に取り入れています。今後も時代の変化に柔軟に対応する教育環境づくりを目指し、ニーズに合わせて基本的な整備水準を適宜見直すことで、大規模改修等の際に機能向上を図り、施設を長期間、快適に使用できるようにします。

④ 安心・安全な学校給食を提供するための整備

- ・異物混入や食材の汚染を未然に防ぎ、おいしく安心安全な学校給食を提供するために、外壁改修や屋上防水などの学校施設の予防保全はもとより、調理機器、ボイラー、空調設備及び換気設備などについても計画的な更新を行います。

4章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

(1) 改修等の整備水準

学校施設整備の基本的な方針と学校施設の老朽化状況の実態を踏まえ、児童生徒数の推移や学校に求められるニーズを考慮し、以下の整備項目を目的ごとに整理します。

また、20年目、60年目に行う定期修繕、40年目に行う大規模改修の主な内容については、表16の通りです。

①安全性・耐用性の確保と維持

- ・外壁改修：塗装、クラック補修、浮き補修等
(樹脂製で耐久性の高い材料を使用した全面改修を基本とします)
- ・屋上・屋根改修：防水改修等
(耐久性や防水機能を考慮し、材料を選定し、全面改修を基本とします)
- ・避難所としての防災機能の対策(非構造部材の耐震対策)
- ・内装改修：天井・壁・床改修、建具改修
- ・外構の安全対策：遊具等インフラ設備の改修

②機能性・快適性の確保と維持

- ・防災設備の更新
- ・受変電設備、照明設備等の更新
- ・空調設備の整備・更新
- ・給排水管設備の更新
- ・放送設備機器や配線の更新
- ・エレベーターの更新
- ・トイレ改修(洋式化、ドライ化)
- ・バリアフリー化
- ・ICT環境整備

③環境・省エネへの配慮

- ・断熱性能、遮音性能の向上
- ・設備の効率化(LED照明)
- ・遮熱塗装等の改修

表16 定期修繕と大規模改修の主な内容

	定期修繕 (築20・60年目)	大規模改修 (築40年目)
屋上防水	シート防水 塗膜防水 アスファルト防水	シート防水 塗膜防水 アスファルト防水
外壁改修	塗装 クラック補修 浮き補修	塗装 クラック補修 浮き補修
内装改修		天井・壁・床仕上げ材の改修 建具改修
設備改修	防災設備の更新	防災設備の更新
		給排水管の全面更新
	放送設備機器の更新	放送設備機器、配線の更新
	ポンプ等機器の更新	ポンプ等機器の更新
	空調設備の更新	空調設備の更新
		電気配線の全面更新
		電気通信設備の全面更新
		エレベーターの更新
躯体		外壁躯体補修(必要な場合) (中性化対策)
インフラ設備改修		遊具、工作物の改修・更新
機能向上		バリアフリー化
		トイレの改修(洋式化、ドライ化)
		設備の更新化(LED照明)

(2) 維持管理の項目・手法等

維持管理を効率的・効果的に実施するため、小中学校については、劣化状況調査票、給食センターについてはマニュアルチェックシートに基づき毎年点検を実施します。(点検結果はP26、27参照)
特に劣化が著しく進んでいる施設は計画的な改修を実施し、教育環境水準の維持を図っていきます。

通し番号	1					
学校名	綾瀬小学校	学校番号	751	調査日	令和2年6月15日	
建物名	本館	記入者				
棟番号	1	建築年度	昭和46年度(1971年度)			
構造種別	RC	延床面積	2,182㎡	階数	地上4階 地下 階	
部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の変更) 年度 工事内容	劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input type="checkbox"/> シート防水、巻膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根()	H25 屋根工事	<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある <input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に剥れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に腐・損傷がある <input type="checkbox"/> 瓦ネ・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 種やルフトシを目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある	2	4階廊下漏水 跡2カ所	B
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁() <input type="checkbox"/> アルミ製サッシ <input type="checkbox"/> 鋼製サッシ <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス	H16 外壁仕上げ工事	<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input type="checkbox"/> タイルや石が割れている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアの腐・変形がある <input type="checkbox"/> 外壁手すり等の腐・変形 <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある	4	軒先に塗装の 剥れ4カ所あり 外壁クラック・ コンクリート浮 きあり 屋上棟屋外壁 クラック・錆汁 あり 印刷室前犬走 りに沈下によ る亀裂あり。	B
部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指検事項)	評価		
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建築) (間仕切等) (照明器具) (エアコン等)	<input type="checkbox"/> 老朽改修 <input type="checkbox"/> エコ改修 <input type="checkbox"/> トイレ改修 <input type="checkbox"/> 法令適合 <input type="checkbox"/> 校内LAN <input type="checkbox"/> 空調設置 <input type="checkbox"/> 障害児等対策 <input type="checkbox"/> 防犯対策 <input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策 <input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策 <input type="checkbox"/> その他、内部改修工事	R1		C		
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修 <input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事 <input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検 <input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事	H22	高圧	C		
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修 <input type="checkbox"/> 排水配管改修 <input type="checkbox"/> 消防設備の点検 <input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事	H4	給排水(ポンプ、タンク、排水等)	C		
特記事項(改修工事内容や1箇所点検、消防点検など、各種点検等による指検事項があれば、該当部位と指検内容を記載) 4階廊下漏水跡2カ所あり。 軒先に塗装の剥れ4カ所あり。外壁クラック・コンクリート浮きあり。屋上棟屋外壁クラック・錆汁あり。印刷室前犬走りに沈下による亀裂あり。 3・4階各階梁の梁にクラックあり。4階家庭科室・準備室間の壁クラック・コンクリート欠損あり。2階西男子トイレ壁にクラックあり。1階昇降口床にクラックあり。1階特別支援学級床に隆起による不陸あり。						
				健全度	53/100	

図 12 劣化状況調査票(記載例)

【施設管理者用】施設点検マニュアルチェックシート			
※複数の箇所で見られる場合は、別紙に当該箇所と異常の内容や気づいた点を記入する。 確認の実施日 令和2年(2020年)1月31日 明倫調理場			
点検部位	屋根 (防水)		備考 (※異常の内容、箇所等)
	異常の有無	箇所	
防水層、モルタル等の保護層に著しい浮きやき裂等の損傷がないか。【目視】	無	有	1 箇所: 2 異常の内容等:
屋根ふき材(金属製又は瓦等)下地材及び繋ぎ金物に変形、乱れ、割れ、腐食等がないか。【目視】	無	有	1 箇所: 2 異常の内容等:
トップライトに傷、割れ等による落下のおそれがないか。また、シーリング材の劣化による硬化、ひび割れがないか。【目視】	無	有	1 箇所: 2 異常の内容等:
屋根及び伸縮目地材部に土砂がたまり、又は雑草が繁茂し、防水、排水の機能を損なうおそれはないか。【目視】	無	有	1 箇所: 2 異常の内容等:
排水不良による水たまりができていないか。【目視】	無	有	1 箇所: 2 異常の内容等:
ルーフトレン排水口が閉塞していないか。【目視】	無	有	1 箇所: 2 異常の内容等:
空室は変形、腐食等で脱落のおそれはないか。【目視】	無	有	1 箇所: 2 異常の内容等:
バラベットの浮き、き裂、損傷、白華、腐食、漏水痕等がないか。【目視】	無	有	1 箇所: 2 異常の内容等:
伸縮目地材、シーリング材、塗材等に劣化、欠損はないか。【目視】	無	有	1 箇所: 2 異常の内容等:
金属類(点検歩廊、タラップ、手すり、窓清掃用丸環等)に著しい腐食や変形、ぐらつきはないか。【目視】	無	有	1 箇所: 2 異常の内容等:

図 13 マニュアルチェックシート(記載例)

5章 長寿命化の実施計画

(1) 改修等の優先順位付けと実施計画

① 改修等の優先順位付け

優先順位付けの考え方については、児童生徒の安心安全な教育環境を確保することを最優先とし、施設の劣化状況等に基づき優先順位を決定します。長寿命化が必要な施設や更新（建替え）築等による整備が必要な施設の精査を行い、優先順位付けを行います。以下の改修等の優先順位付けの基準をもとに実施計画を策定します。

- ① 児童生徒の安心安全を確保するため、劣化状況調査による是正箇所があるもの

（例：屋上防水劣化による雨漏り、外壁材落下の危険性、消防設備の不具合）

特に安心・安全への配慮として、劣化状況調査で劣化が特に激しいと判断された部位（4段階評価判定のD評価）については、今後3年以内に前倒しで改修を行います。基本的には、健全度の点数が低い施設から順に改修を行うこととしますが、経過年数や過去の修繕履歴を考慮して優先度を設定します。

- ② 機能性の観点、施設本来の要求水準が満たしていないもの（例：トイレ改修、電気設備等）

順次更新を行います。同一年度に費用が集中する場合は、劣化状況調査、経過年数、施設の利用状況等を考慮し、優先度を設定します。

表 17 改修等の優先順位

優先順位	改修等の内容
1	安全・安心への対応 （D評価の改修、防水・外壁改修、消防設備、空調設備等）
2	施設機能の確保 （給排水設備・トイレ・電気設備・エレベーター改修等）
3	教育内容・方法への適応 （ICT化、バリアフリー対応等）

② 実施計画

今後3年間の学校施設の整備計画案は表18に示します。

表 18 整備計画案 (3年間)

		R3 (2021) 年度	R4 (2022) 年度	R5 (2023) 年度
定期修繕 (老朽)	屋根防水	名和小 (北) 加木屋南小 (南)	名和小 (中) 加木屋調理場	横須賀中 (屋体) 加木屋中 (技術)
	外壁	名和小 (北) 加木屋南小 (南) 渡内小 (屋体)	名和小 (中) 加木屋調理場	三ツ池小 (屋体) 名和中 (本) 横須賀中 (屋体) 加木屋中 (技術)
	消防設備	名和小 三ツ池小	大田小 富木島小 平洲中	名和中 加木屋中
空調整備	普通教室	名和小、平洲小		
	職員室	緑陽小、大田小	横須賀小、上野中	横須賀中
	保健室			
	図書室	上野中		横須賀中
増築		(大田小)	(大田小)	
防災機能強化	非構造部材 改修		渡内小 船島小	横須賀中 加木屋中
	受水槽改修		船島小	
その他 施設整備			名和小 (擁壁) 名和中 (下水道)	明倫小 (IP) 横須賀中 (屋体 床)

(2) 長寿命化コストの見通しと効果

① 長寿命化コストの見通し(40年間)

本市における今後の維持・更新（建替え）コストについて、現在の施設総量を維持し長寿命化した場合及び第3章及び第4章で設定した方針に基づき、前倒しや一層の長寿命化を行い、更新（建替え）時に延床面積を縮減した場合の今後40年間のコストの見通しについて、試算を行いました。

(1) 費用区分及び内容

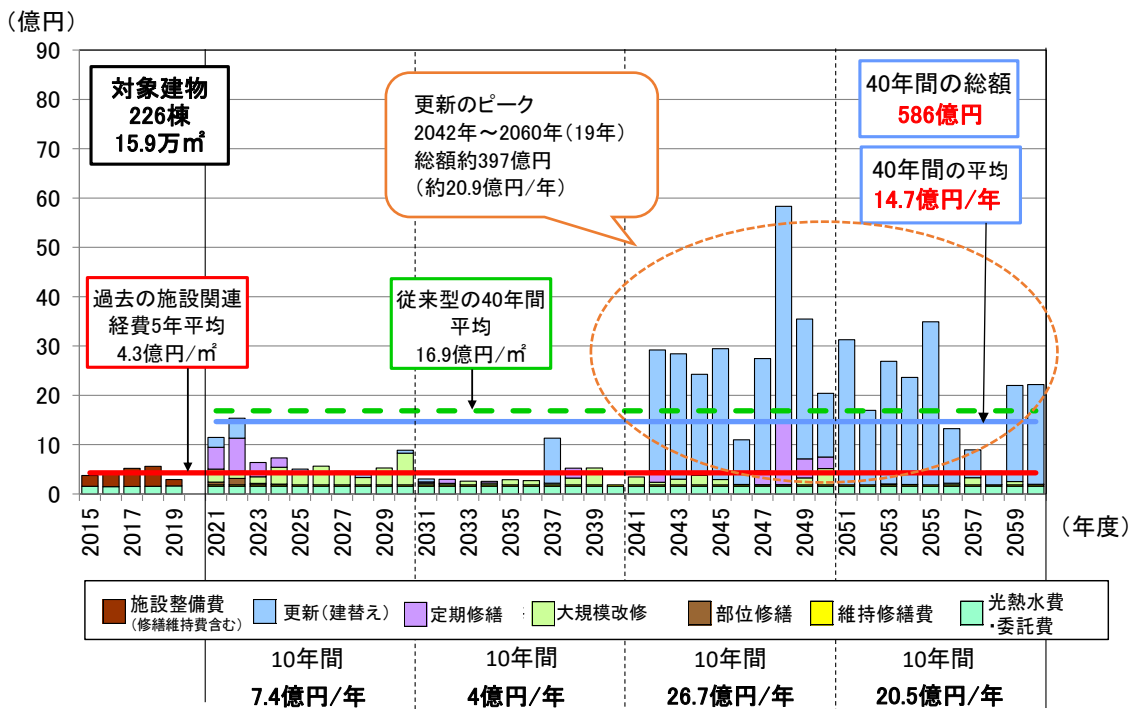
表 19 費用区分・内容

費用区分	費用内容	周期	工事期間	費用	費用根拠
更新（建替え）	施設の建替えにかかる費用	80年	3年	学校：33.0万円/m ² 給食センター：58.0万円/m ²	文部科学省の学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書による ※給食センターの建替え費用については他市の実績を参考
定期修繕	メンテナンスサイクルに基づく改修	部位改修ごとの周期	1年	過去の本市における部位ごとの改修費用の平均	
大規模改修	リニューアル工事にかかる費用	40年	2年~3年	学校：13.8億円/m ² 給食センター：26.4億円/m ²	躯体を除いた建替え費用の60%
維持修繕費	維持修繕にかかる費用	毎年	1年	29.6百万円	維持修繕に係る費用の過去5年間平均
光熱水費委託費	光熱水費、委託にかかる費用	毎年	1年	1.55億円	光熱水費及び委託料に係る過去5年間平均

(2) 長寿命化型のコストの見通し

㊦ 長寿命化型

築80年で現在の施設総量を維持したまま更新（建替え）した場合、今後40年間のコストは586億円（14.7億円/年）となり、直近5年間の施設関連経費4.3億円/年の約3.4倍のコストが見込まれます。従来型（P28掲載）と比較して、今後40年間で88億円（約13%）のコストが減少しました。しかし、令和24年度（2042年度）～令和42年度（2060年度）に集中している更新（建替え）時期及び財政支出の平準化を行う必要があります。



(イ) 平準化した長寿命化型+延床面積縮減

本市において、従来型から長寿命化型への移行は、今後40年間の維持・更新（建替え）コストで88億円減少していますが、より一層の削減と平準化を図るため、3章及び4章に示した方針に基づき、一時期に集中していた更新（建替え）時期を見直し、中期（2031年度～2040年度の10年間）から前期（2021年度～2030年度の10年間）へ1校程度の前倒しし、長期（2041年度～2060年度の20年間）から中期へ4校程度の前倒しし、長期へ一層の長寿命化を行うことにより平準化を行っています。さらに、公共施設再編計画に基づく他の地域密着型施設との複合化等による延床面積の縮減を図ることで、今後40年間のコストは516億円（12.9億円/年）となります。これにより、今後40年間で従来型より158億円（約23%）、(ア)長寿命化型より70億円（約12%）のコストの削減を見込むことができました。

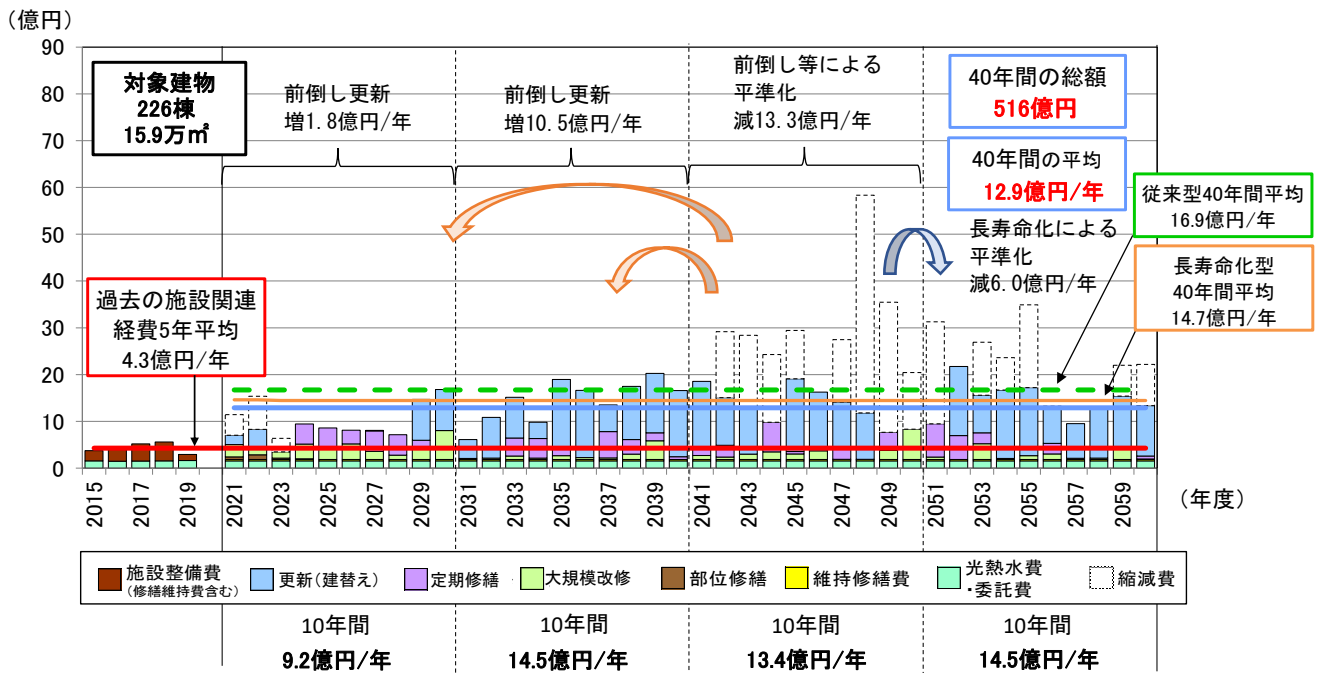


図 15 今後の維持・更新（建替え）コスト（長寿命化平準化型+延床面積縮減）

なお、試算の実施にあたり、現在の更新（建替え）のコストは、校舎が2年（校舎が複数棟ある場合）、体育館などは1年で、更新（建替え）する試算となっておりますが、実際に更新（建替え）する際には、全体の建物の配置などを考慮し、検討していきます。

また、公共施設全体での平準化や本市の財源状況などを踏まえ、今後も引き続き検討を重ね、実現可能な整備計画を検討していきます。

② 長寿命化による効果

効果1 快適で安全な学校施設の確保

計画的な改修を行うことで、突発的な故障等の発生を減少し、生活環境・学習環境の維持向上を行うことで、快適で安心・安全な学校生活を確保することができます。

効果2 コストの削減

計画的な予防保全の実施により、施設の長寿命化を行うことで、突発的な修繕費用の減少が見込まれます。

また、施設規模の適正化を図り、延床面積縮減の検討を行うことで、今後40年間のコストは約158億円（約4億円/年）の削減が見込まれます。

6章 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

情報基盤の整備については、現在も実施している非構造部材点検等の公共施設の状態に関する情報を整理していきます。また、今後は、過去の部位毎の改修・交換履歴、事故・故障の発生状況等をデータベースとして一元的に蓄積するとともに、蓄積された施設データベースを計画的な保全に活用していくものとします。

(2) 推進体制等の整備

「劣化状況調査票」「非構造部材点検」を基に、設置管理者として定期的な点検・調査を実施し、学校と連携して施設の状態把握に努めるとともに、児童生徒数及び学級数の推移や今後の社会情勢や学校施設に求められるニーズ等の変化を把握し、関係部署との連携の強化を図り、本計画に関する取組みを進めていきます。なお、具体的な取組にあたっては、地域住民や保護者、関係団体との情報提供や意見交換などを行い、市民意見を反映しながら事業化を進めていきます。

(3) フォローアップ

本計画の実施にあたり、今後も引き続き、施設の劣化状況、学校教育の取り巻く環境の変化、児童生徒数の変動、社会情勢の変化、市の財政状況等に対応したていく必要があり、5年ごとを目安にフォローアップを実施し、実現性・実効性を確保した計画とします。なお、上位計画である総合管理計画や再編計画との整合も適宜行っていきます。

また、今後、児童生徒数が減少していくことが全国的な流れとして想定される一方で、特別支援学級が増加傾向にあることや、小学校では令和3年度（2021年度）から段階的に35人学級になる方向性が国から出されていることから、このような状況を総合的に判断し、財政支出の平準化や学校を取り巻く環境の変化を踏まえて、PDCAサイクルを実行し、実現性のある計画とします。

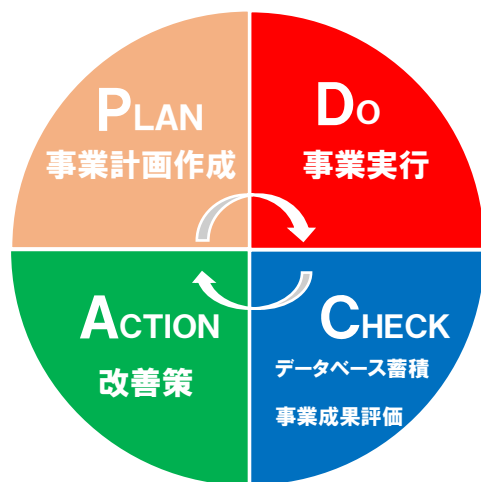


図 16 PDCAサイクルのイメージ

用語解説

あ行	維持管理	良好な状態に建物や設備の性能・機能を保つとともに、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けるため、建物や設備の点検・診断を行い、必要に応じて建物の改修や設備の更新を行うこと
	インフラ長寿命化基本計画	中長期的な維持管理・更新等に係るコストの縮減や予算の平準化を図るとともに、国民の安全・安心を確保し、維持管理・更新に係る産業の競争力を確保するための方向性を示すものとして、国や地方公共団体、その他民間企業等が管理するあらゆるインフラを対象に策定された基本計画
	インフラ長寿命化計画（行動計画）	政府全体の老朽化対策に関する取組として、インフラ長寿命化基本計画に基づき、国、自治体レベルで行動計画の策定を進め、全国のあらゆるインフラの安全性の向上と効率的な維持管理を実現することとされている
か行	定期修繕（改修）	経年劣化した建物の部分又は全体の原状回復を図る工事や、建物の機能・性能を求められる水準まで引上げる工事を行うこと
	学校施設台帳	毎年地方公共団体が棟別面積等を取りまとめている公立学校施設の台帳
	旧耐震基準	昭和 56 年の建築基準法改正より前の耐震に関する設計基準
	更新（建替え）	老朽化により構造上危険な状態にあったり、教育上、著しく不適当な状態にあたりする既存の建物を建替えること
さ行	事後保全	建物や設備等において、不具合が出た箇所のみを事後的に修繕するというような維持管理の方法
た行	大規模改修	機能維持、機能回復工事と、社会的欲求に対応するための機能向上を目的とした改修を行うこと
は行	バリアフリー化	障がいのある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となる段差等の物理的障壁を除去すること
	部位修繕	経年劣化した建物の部分を、既存のものと概ね同じ位置に、概ね同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復を図ること

ま行	目標耐用年数	本市が目標とする、建物を建築してから改築等を行うまでの使用期間のこと
や行	予防保全	建物の損傷や設備等の異常が軽微である早期の段階から、性能・機能の保持・回復を図るための修繕等を予防的に実施し、維持管理する方法
ら行	ランニングコスト	建設以降にかかる運用費（光熱水費等）、保全費、修繕費、施設更新費等を含む費用のこと

東海市学校施設長寿命化計画

発行：東海市学校教育課

〒476-8601

愛知県東海市中央町一丁目1番地

電話 052-603-2211(代表)

FAX 052-604-9290

E-mail gakkyou@city.tokai.lg.jp